

STAR

取扱説明書・部品表

コーンハーベスタ

製品コード K38141
型式 MCH2060
部品供給型式 ACF2060-01

ロークroppアタッチメント

製品コード K38132
型式 ARC2000
部品供給型式 ARC2000-01

ドッキングフレーム

製品コード K43060
型式 ADF0510
部品供給型式 ADF0510-01

ピックアップハーベスタ

製品コード K38144
型式 MPH2060
部品供給型式 ACF2060-01

ピックアップアタッチメント

製品コード K38101
型式 APU2000

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

SFAA

⚠️ 安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、⚠️ 印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

⚠️ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠️ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠️ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

⚠️ 注意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、疲労きみ、病気や紅腫しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

部品番号 106164

⚠️ 警告



ナイフを研磨する時、ナイフに接触すると、ケガをする事があります。

ナイフの研磨手順に従って行って下さい。

部品番号 106480

⚠️ 危険

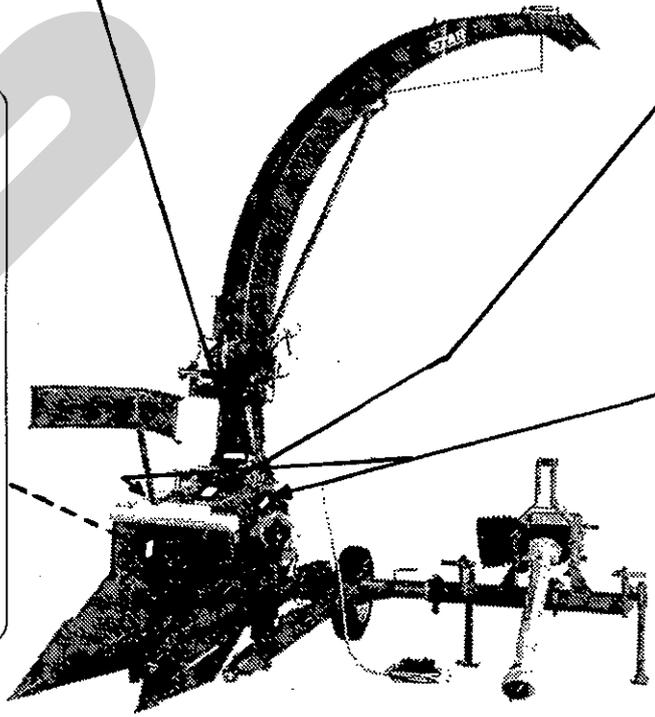


運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。

周囲に人を近づけないで下さい。

手供給する時は、必ず搬送チェーンの動力を遮断してから行って下さい。

部品番号 106476



⚠️ 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171

▲ 危険

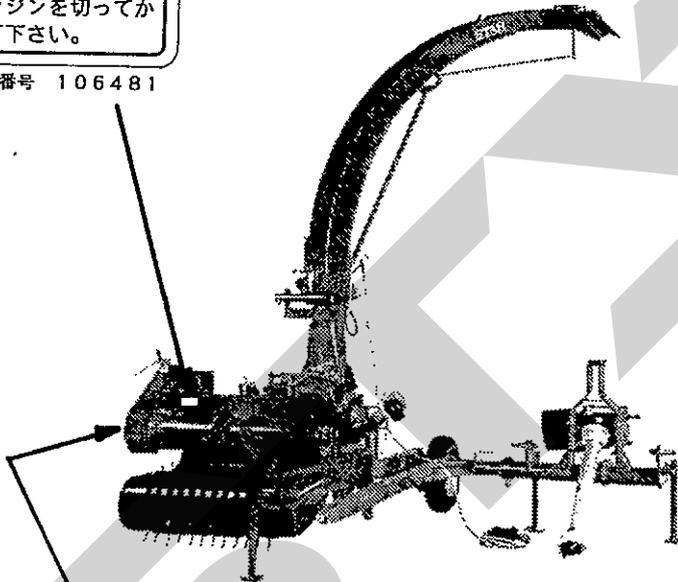


運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。

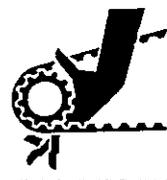
周囲に人を近づけないで下さい。

ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、必ずPTOおよびエンジンを切ってから取り除いて下さい。

部品番号 106481



▲ 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処し、トラブルやケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態の対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。PTOを切ってから始動してください。

- エンジンを始動する時、作業機を下限まで降ろして行わないと、不意に降下または上昇して、周囲にいる人がケガをする事があります。
作業機を下限まで降ろして行ってください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- トラクタの3点リンクに作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に入を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- ハーベスタ本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをする事があります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。
- バッテリーからバッテリーケーブルを外すときは(-)側から外し、取り付けるときは(+)側から行ってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触した場合、火花が生じ、火災事故の原因になります。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。

- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けずに使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きる事があり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車輛法に違反します。
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人を乗せない

作業中は

てください。

- 高速運転・急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。高速運転・急制動・急旋回はしないでください。
 - 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。
 - 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
 - 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。路肩は走行しないでください。
 - 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。あゆみ板を使用してください。
 - 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
 - 作業機を折りたたまずに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。折りたたんで、移動させてください。
- ▲注意**
- 本作業機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをする事があります。低速走行してください。
 - 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。移動走行する時は、PTOを切ってください。

作業する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行ってください。
- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、PTOおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。特に、子供は近づけないようにしてください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- ロックロップ部あるいは本体に長程作物が詰まった時、手や足で押し込むと巻き込まれ、ケガをする事があります。手足での押し込みはやめてください。詰まりの除去を行う時は、PTO及びエンジンを切ってから行ってください。
- コーン引き起こし装置を装着した状態で手供給すると巻き込まれケガをする事があります。危険ですのでやめてください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりに行ってください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。

前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。
- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。ナイフの研磨手順に基づき行ってください。

▲注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをする事があります。フライホイールの回り止めを確実にを行い、作業してください。
- ナイフを研磨する時目に飛散物が入りケガをする事があります。保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬケガを起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで降下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

この取扱説明書・部品表には、MCH2060コーンハーベスタ、およびMPH2060ピックアップハーベスタの2型式の機械について記載しております。

それぞれの機械は、次のアタッチメントが標準またはオプションとして用意されております。

型 式	ハ ー ベ ス タ 本 体		ア タ ッ チ メ ン ト	
	カッティング フレームユニット ACF2060	ドッキングフレーム ADF0510	ロークropp アタッチメント ARC2000	ピックアップ アタッチメント APU2000
M C H 2060	標 準	標 準	標 準	オ プ シ ョ ン
M P H 2060	標 準	標 準	オ プ シ ョ ン	標 準

この取扱説明書・部品表はハーベスタ本体（ACF2060+ADF0510）、ロークroppアタッチメント（ARC2000）、ピックアップアタッチメント（APU2000）の3部構成になっています。

もくじ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	6
作業前に	3	不調処置・点検・整備をする時	6
作業中は	5		

I ハーベスタ本体

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	12	4 トラクタへの装着	15
2 適応トラクタの範囲	13	1. 3点リンクへの ドッキングフレームの連結	15
3 組立部品	14	2. ドッキングフレームと ハーベスタ本体の連結	15
1. 解 梱	14	3. スイッチボックスの取付・配線	16
2. 組立部品の明細	14	5 パワージョイントの装着	17
3. 組 立	14	1. 長さの確認方法	17
		2. 切 断 方 法	18
		3. 安全カバー脱着方法	18
		4. パワージョイントの連結	18

2 運転を始める前の点検

1 運 転 前 の 点 検	19	2 エンジン始動での点検	19
1. トラクタ各部の点検	19	1. トラクタ油圧システムの点検	19
2. 連結部の点検	19	3 給油箇所一覧表	20
(1) 3点リンクの点検	19		
(2) パワージョイントの点検	19		

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	21	4. フィードロールスプリング の調整	23
1. ロックロップアタッチ装着時	21	5. スクレーパの調整	23
2. ピックアップアタッチ装着時	21	6. 切断長の調整	23
2 作業要領	21	7. タイヤの空気圧	23
3 各部の調整	21	4 運搬	24
1. ナイフの研磨	21	1. 本体の取り外し	24
2. シャバーの調整	22		
3. ナイフの調整	22		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	24	2 長期格納する時	24
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	25
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	25
-----------	----

部品表	42
-----	----

II ロックロップアタッチメント

1 本体への装着

1 各部の名称とはたらき	27	3 本体への装着	28
2 組立部品	28		
1. 解 梱	28		
2. 組立部品の明細	28		
3. 組 立	28		

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	29	3 給油箇所一覧表	29
2 エンジン始動での点検	29		

3 作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的	30	3 各部の調整	30
2 作業要領	30	1. ギャザリングチェーンの張り	30
		2. ナイフ(ロータリー刃)	30
		3. シャーボルト	31

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	31	2 長期格納する時	31
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	32
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	33
-----------	----

部 品 表	52
-------	----

Ⅲ ピックアップアタッチメント

1 本体への装着

1 各部の名称とはたらき	34	3 本体への装着	35
2 組立部品	35		
1. 解 梱	35		
2. 組立部品の明細	35		
3. 組 立	35		

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	36	3 給油箇所一覧表	36
2 エンジン始動での点検	36		

3 作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的	37	3 各部の調整	37
2 作業要領	37	1. オーガスプリングの調整	37
		2. スリップクラッチの調整	37
		3. オーガテンションの調整	38
		4. ピックアップVベルトの調整	38

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	38	2 長期格納する時	38
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	39
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	40
-----------	----

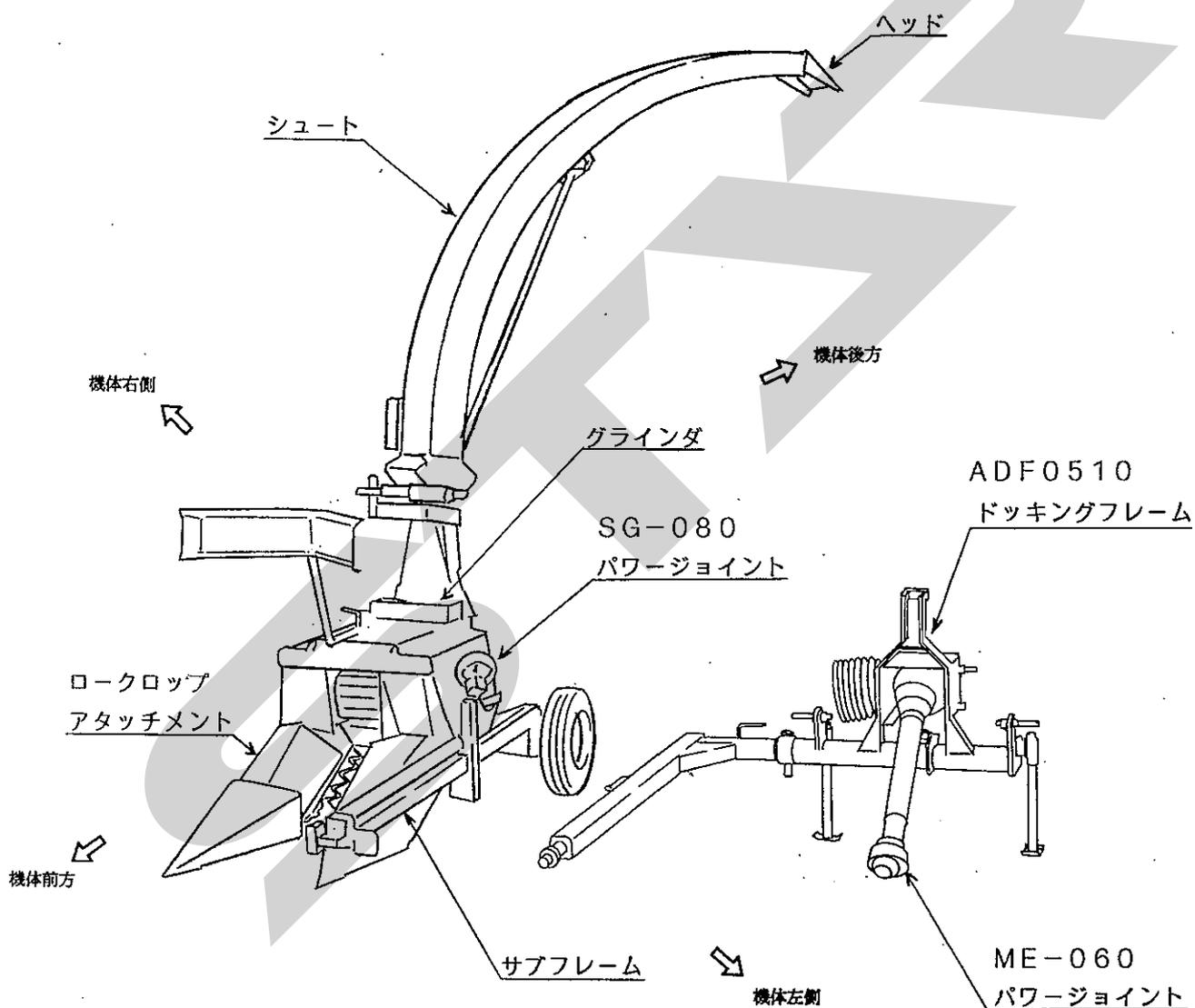
部 品 表	55
---------	----

I ハーベスタ本体

1 トラクタへの装着

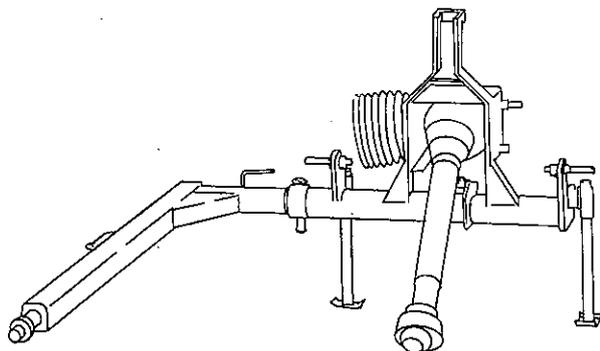
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



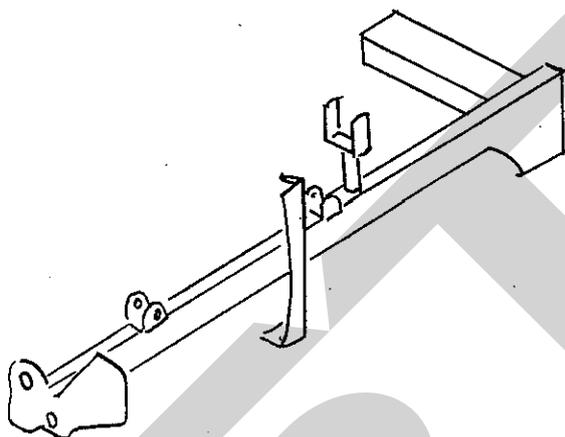
1. ドッキングフレーム

トラクタに装着してハーベスタ本体との連結、動力の供給及び移動に使用します。



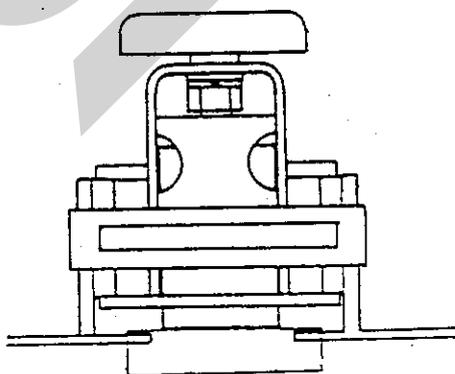
2. サブフレーム

ハーベスタ本体とドッキングフレームを連結するための本体側の連結装置です。



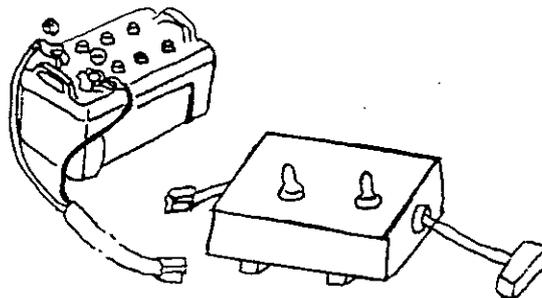
3. グラインダ

ナイフを研磨する装置です。



4. スイッチボックス

トラクタに座ったままシュートの回転、ヘッドの上下作動に使用します。



5. パワージョイント；ME-060

トラクタからドッキングフレームへ動力を伝達します。

6. パワージョイント；SG-080

ドッキングフレームからハーベスタ本体へ動力を伝達します。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼす事があります。

この製品の適応トラクタ馬力は選択するアタッチメントの種類によりますが、次のとおりです。

トラクタ馬力
20 ~ 45 P s

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーが出ない事があります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでのご使用時には、過負荷に対し機体の適正値を超えたパワーが出てしまい、作業機の破損の原因になる事があります。

3 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

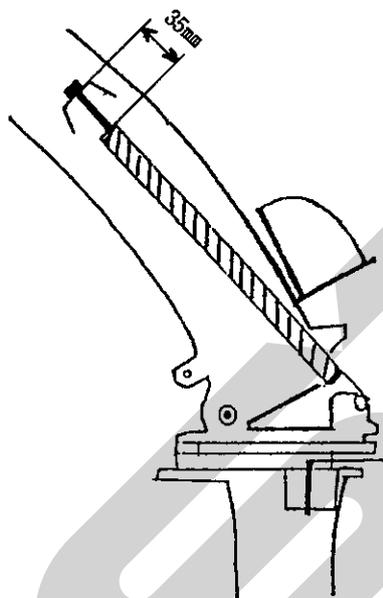
2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

- (1) タイヤ、カウンタパイプを取り付ける。
- (2) ダクトを本体に取り付ける。
- (3) ダクトにシュートを取り付ける。
- (4) シュート折りたたみのスプリングを取り付ける。長さ調整は図示寸法を参考に操作力を確かめながら行ってください。



- (5) その他の部品を部品表を参考にに取り付けてください。

4 トラクタへの装着

1. 3点リンクへのドッキングフレームの連結

▲ 警 告

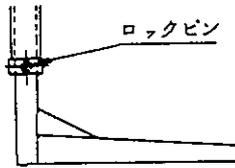
- トラクタの3点リンクに作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の人に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の人に人を近づけないでください。

▲ 注 意

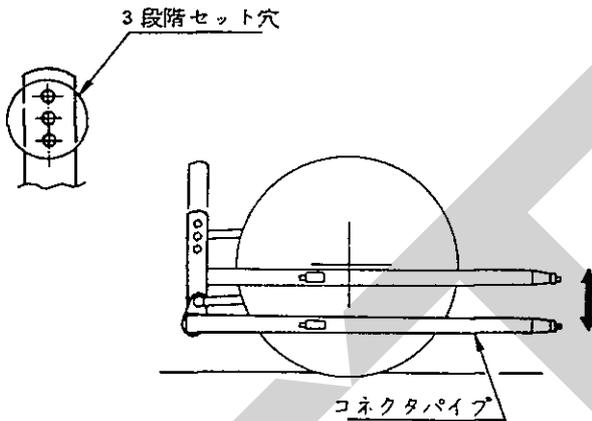
- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのローワーリンク先端部とドッキングフレームの左右のローワーリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。
エンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のローワーリンクを連結し、抜けだめにトラクタに付いているリンチピンをローワーリンクピンに差してください。
次に、右のローワーリンクも同順で行ってください。
- (3) 左右のローワーリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタローワーリンクの幅が狭い場合は、ローワーリンクピンを内向きで使用してください。
- (5) トラクタのエンジンを始動し、トラクタ3点リンクを昇降する油圧レバーを操作してドッキングフレームを少し上げ、エンジンをとめてください。
- (6) P I C軸心がトラクタ中心におおよそ一致する位置に、チェックチェーンでセットし、ドッキングフレームの横振れをなくしてください。
- (7) スタンドを上げ、デルタピンで固定してください。

- (8) コネクタパイプは2段階に調整できます。
コネクタパイプとトラクタとのスキ間は10
cm～15cm にしてください。

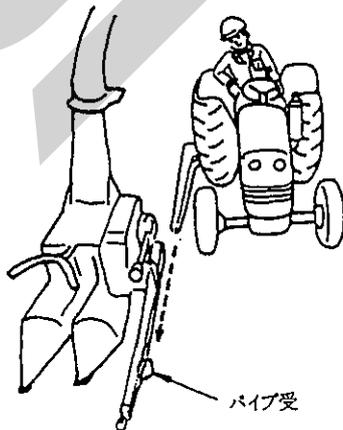


- (9) ドッキングフレームのコネクタパイプが水
平もしくは先端が少し上向きに上下するよ
うに3段階の穴で調整してください。
トップリンクピンの位置をトラクタ側が高
くなるように取り付けるとほぼ水平に上下し
ます。

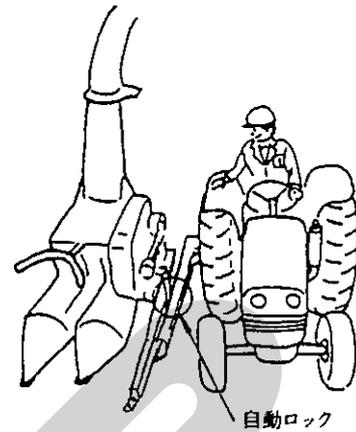


2. ドッキングフレームとハーベスタ本体の連結

- (1) 本体後方より接近し前進しながらコネク
タパイプ受にコネクタパイプ先端を差し込み
ます。

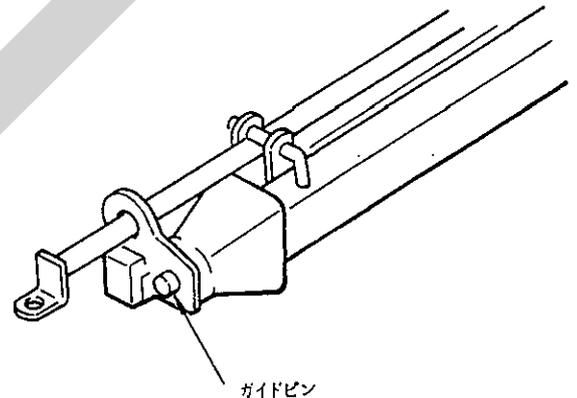


- (2) コネクタパイプ先端が差し込まれたら油圧
で本体を持ち上げ、さらに前進すると自動ロ
ックにより本体とドッキングフレームが固定さ
れます。



取扱上の注意

ガイドピンがコネクタパイプ受前部からで
ている事を確認してください。(約30mm)
ガイドピンは作業中、本体の脱落を防止す
るものです。
ガイドピンが出ない時は「6-1 不調時処
置一覧表」で確認してください。



- (3) 本体P I C軸のパワージョイントを、ドッ
キングフレームのギヤケースのP T O軸と連
結し 安全カバーの回り止めをしてください。

3. スイッチボックスの取付・配線

(シュート・ヘッドのリモコン操作)

- (1) コード ; 1 (電源コード) をバッテリーターミナルへの取り付けます。

コード ; 1 (電源コード) のターミナルはトラクタのバッテリーコードのターミナルをとめているボルトと共締めにしますのでバッテリーから (-)、(+) 共にコードを外してください。

(コードを外すときは (-) 側から外してください。)

トラクタのバッテリーコードのナットを外しコード ; 1 (電源コード) のターミナルを取り付けナットを締め付けます。(バッテリーターミナルへ取り付けるときは (+) 側から取り付けてください。)

コードの極性は、白色が (+)、黒色が (-) です。

▲ 注意

- バッテリーからバッテリーケーブルを外すときは (-) 側から外し、取り付けるときは (+) 側から行ってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触した場合、火花が生じ、火災事故の原因になります。

取扱上の注意

コード ; 1 (電源コード) をバッテリーターミナルへ取り付け時の誤作動を防ぐためスイッチボックスに取り付けずコード単体で行ってください。

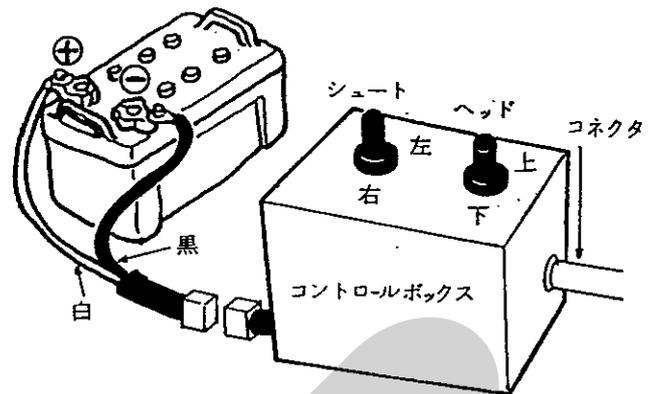
- (2) スイッチボックスをトラクタの操作し易い場所に取り付けてください。

スイッチボックスの取付は、磁石で行うので、できるだけ平らな面に取り付けてください。

- (3) コード ; 1 のソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。

- (4) 本体側のヘッド・シュート用コードのソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。

- (5) 取り付け終了後は各スイッチの操作で、表示通りの動作をする事を確認してください。



取扱上の注意

アタッチメントの取り付けは、それぞれの取扱説明書をお読みください。

5 パワージョイントの装着

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに、取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめてから行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けずに使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

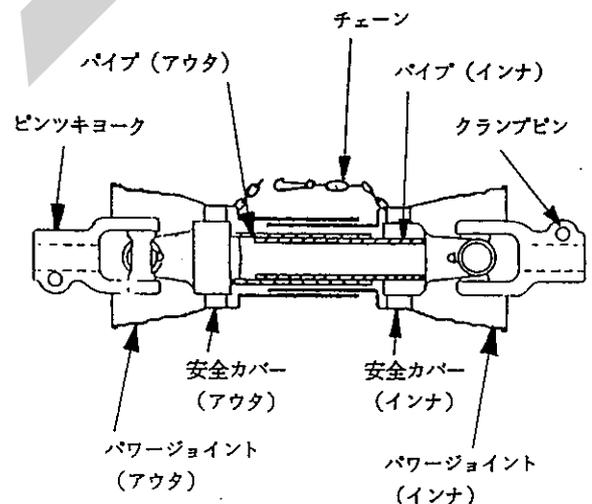
▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。適正な重なり量で使用してください。

1. 長さの確認方法

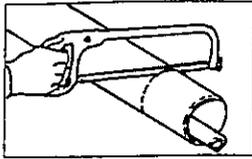
- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウト）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント（アウト）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- (5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウト）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に基づき切断してください。

- (6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウト）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

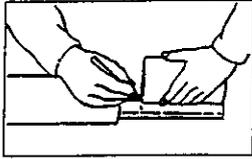


2. 切断方法

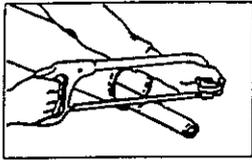
- (1) 安全カバーのアウト・インナ両方を長い分だけ切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウトとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。



切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げしてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウトとインナを組み合わせます。

3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーからチェーンをはずしてください。
- (2) 安全カバーのチューブ側を固定し、ヨーク側カバーを反時計方向に回転してください。
- (3) ヨーク側カバーをチューブ側に押しすとヨーク側カバーが外れます。
- (4) チューブ側カバーをパイプから抜いてください。
- (5) 新しい安全カバーを取り付ける時は逆手順で行なってください。

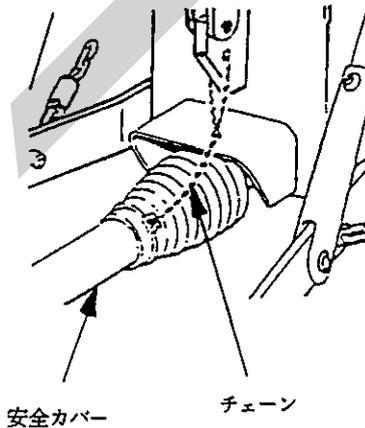
4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランクピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) パワージョイントは、アウトカバー側をトラクタPTO軸側に、インナカバー側をドッキングフレームPIC軸に接続してください。
- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどが無いように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) 3点リンクの点検

- ① ローリンク・トップリンクのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへのドッキングフレームの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

(2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してください。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧システムの点検

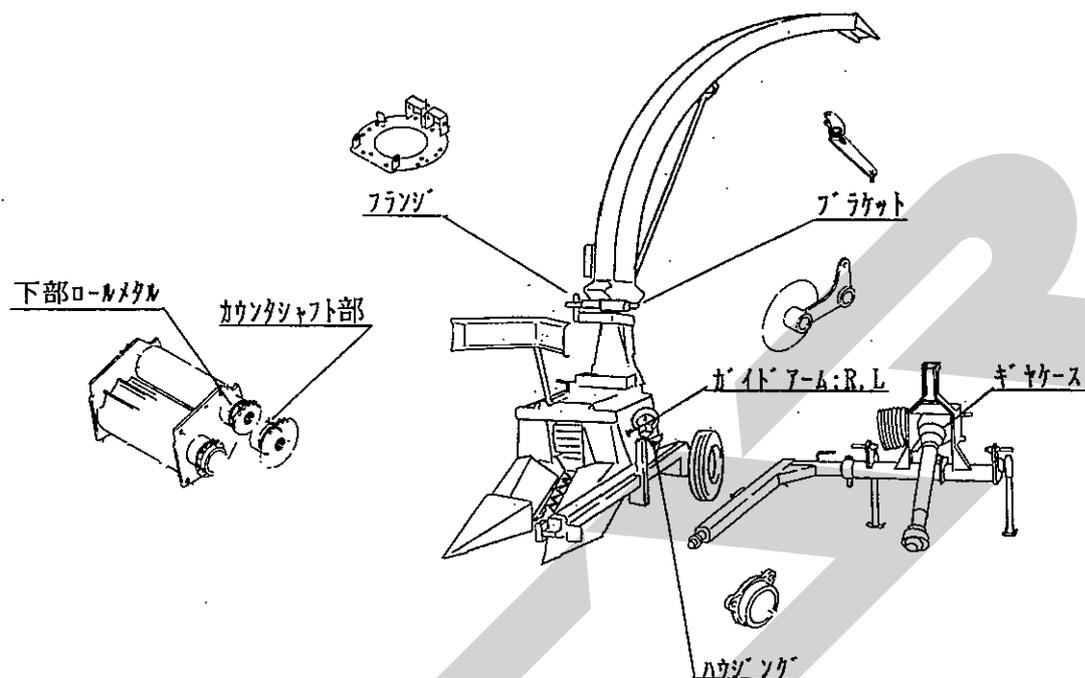
トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。

毎日の作業前に必ず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤケース	1	ギヤオイル#90	使用当初25~30時間 その後シーズン毎に交換 始業点検時確認	レベル迄	始業点検時 確認補給
2	ハウジング(フライホイール)	2	グリース	使用毎	適量	給脂
3	カウンタシャフト部	6	〃	〃	〃	〃
4	下部ロールメタル	4	〃	〃	〃	〃
5	ガイドアーム; R, L	4	〃	〃	〃	〃
6	フランジ(シュート)	4	〃	〃	〃	〃
7	ブラケット(シュート)	1	〃	〃	〃	〃
8	ローラチェーン	4	オイル	〃	〃	オイル塗布
9	スパイダ(ジョイント)	4	グリース	〃	〃	給脂

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

1. ロックロップアタッチ装着時
長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。
これ以外の目的には使わないでください。
2. ピックアップアタッチ装着時
牧草の飼料調整に使用します。
これ以外の目的には、使わないでください。

2 作業要領

作業の手順はロックロップアタッチメント、ピックアップアタッチメントそれぞれの取扱説明書を御覧ください。

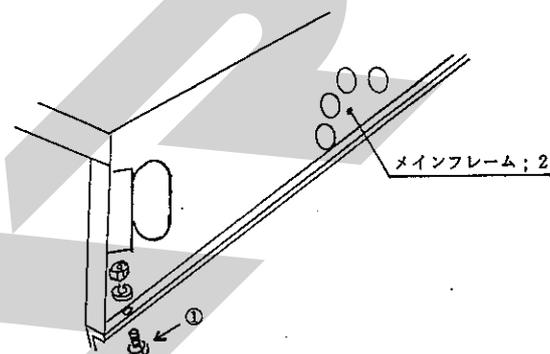
3 各部の調整（快適な作業のために）

《上下フレームの分割方法》

ナイフの調整とプレーンロールとスクレーパの隙間調整は、上フレームを持ち上げて行います。

以下の手順でフレームを分割してください。

- (1) シュートを真後ろへ向けます。
- (2) 左側の上下に伝動するローラチェーンを外します。
- (3) メインフレーム；2の取付けボルト①を外します。
- (4) フレーム後方のボトムプレートとダクトをとめているボルトをはずします。
- (5) シュートのステーのピンをはずし、ステーを下へゆっくり引いてください。



▲ 注意

- 上下フレームを分割した後、上フレームが不意に下降して挟まれ、ケガをする事があります。シュートとフレームをロープ等で連結してください。

1. ナイフの研磨

ナイフが摩耗したままで使用すると切断長さの不均一、馬力アップなど性能低下の原因となります。次の手順で研磨してください。

▲ 警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に基づき行ってください。

▲ 注意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入る事があります。
保護メガネを着用してください。

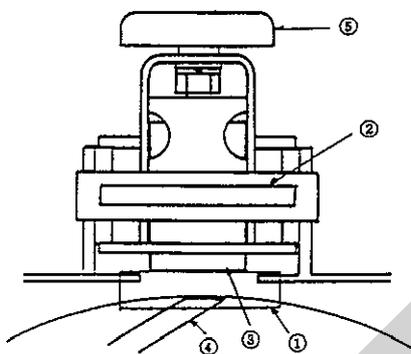
(1) カバー (図①) をはずし、研磨ハンドル (図②) をゆるめ、トイシ (図③) をナイフ (図④) に近づけ、研磨ハンドルを締め付け、トラクタPTOを始動します。

研磨時のPTO回転数は最低速で行ってください。

(2) 研磨ハンドルを左右にスライドさせ1往復ごとにハンドルをゆるめ、キャップスクリュー (図⑤) を45度ずつ手でまわし、トイシを下げていきます。時計と反対方向にまわすとトイシは下がります。

この動作を繰り返すことによりナイフは均一に円筒研磨されます。

(3) 研磨が終わったらトラクタエンジンを停止させ、本体の回転が完全に停止してから、トイシを上げ、カバーを元の位置に入れ、トイシでカバーを動かないようにし、ハンドルをロックしてください。



2. シャバーの調整

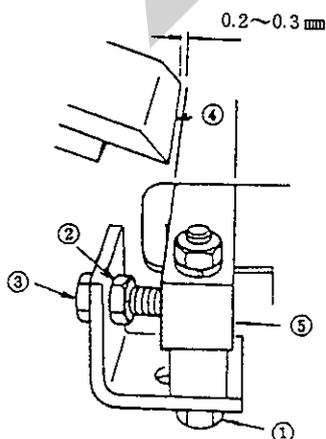
シャバーの調整はナイフの研磨同様大変重要です。

少ない馬力で均一な切断長を得るためにナイフ研磨ごと、もしくはナイフ研磨2回に1回の割合でシャバーの調整をしてください。

(1) ボルト①及びロックナット②をゆるめ、ボルト③を締め込みナイフ④に近づけます。

(2) ナイフとシャバー⑤の隙間が0.2~0.3mmになるように調整します。

(3) 調整後はボルト①を締め、次にロックナット②を締め付けます。



3. ナイフの調整

ナイフは次の場合再調整します。

○新しいナイフを付ける時

○シャバー (受刃) が調整限度となった時

○ナイフとボトムプレート (下ケーシング) の間隔が大きく吹上力が低下した時

上下フレームの分割方法に基づきフレームを分割します。

▲ 注意

●ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをする事があります。フライホイールの回り止めを確実にし、作業してください。

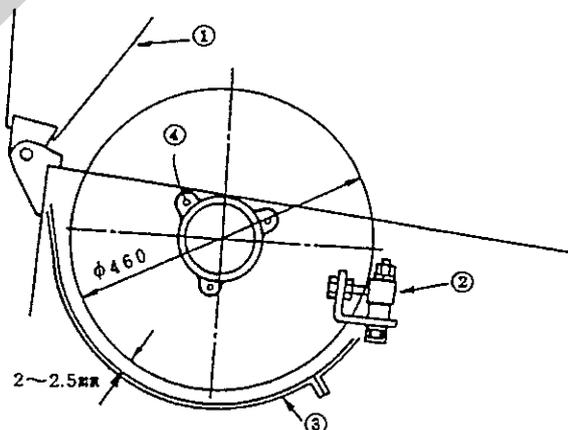
(1) シャバー (図②) をはずし、各部のゴミやさびを取り除きます。

(2) 刃先円直径は460mm (図示) になるようナイフ一枚を取り付け、シャバー②を取り付け固定します。

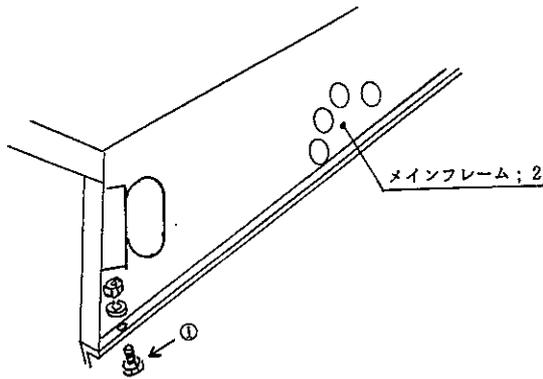
(3) ナイフの取り付けボルトを軽く締め込み、シャバーとの隙間が0.2~0.3mmになるようにシャバーを調整します。

(4) この時、ナイフ先端とボトムプレート③のスキマが2~2.5mmあることを確認します。

(5) ナイフの取り付けボルトを完全に締め付けます。(締付トルクは16kg・mです。)



- (6) メインフレーム；2をおろし、取り付けボルトで固定します。



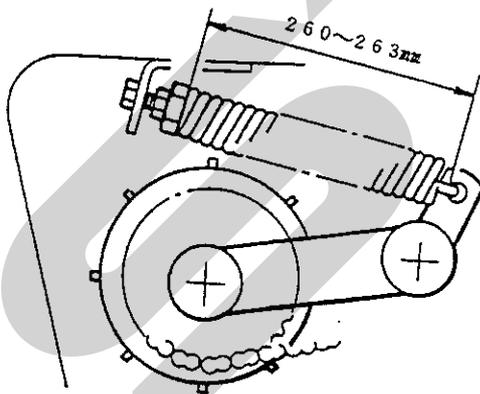
- (7) 全てのナイフが同一円をまわるように研磨してください。(「3-3-1 ナイフの研磨」参照)

取扱上の注意

ナイフ取付ボルト及びワッシャは特殊品を使用しています。STAR純正品以外は絶対に使用しないでください。

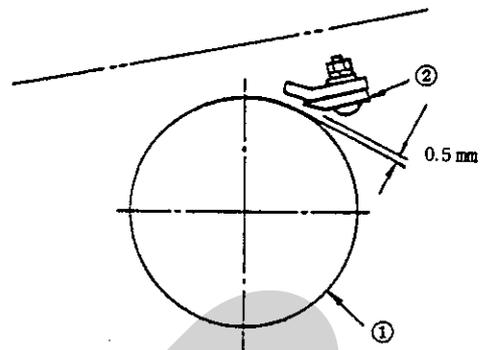
4. フィードロールスプリングの調整

フィードロールスプリングの張りは260~263 mmになるように調整します。



5. スクレーパの調整

プレーンロール①とスクレーパ②の隙間は、0.5mm 位に調整します。



6. 切断長の調整

切断長さはナイフの枚数により調整します。標準では3枚、6枚とする事ができますが、ナイフ及びナイフホルダ（別売品）を3セット追加する事で9枚にすることができます。

又、フライホイール軸に取り付けてあるスプロケットを組み替える事により切断長さを替える事ができます。(別売品)

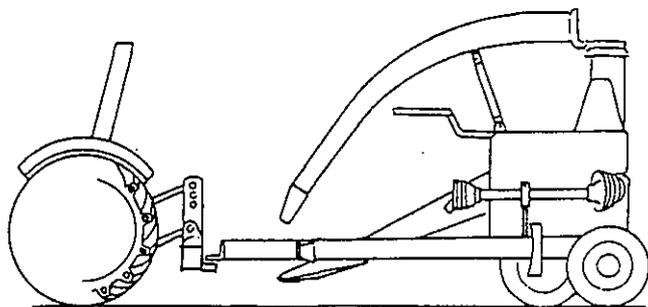
標準	別売品		
	ナイフ枚数	標準スプロケット(15T)	別売スプロケット(12T)
3枚	25 mm	20 mm	
6枚	12 mm	10 mm	
別売品	9枚	8 mm	

7. タイヤの空気圧

タイヤサイズ	空気圧
4.00-8-6PR	490KPa (5.0kgf/cm ²)

4 運 搬

本作業機は機体幅が広い作業機です。移動する時は、トラクタ後部にけん引します。



1. 本体の取り外し

- (1) ハーベスタ本体カッタ部のパワージョイントをギヤケースからはずし、ジョイント受に置きます。
スイッチボックスからソケットをはずしてください。
- (2) トラクタの3点リンクの油圧レバーを下げて油圧をフリーの状態にします。
- (3) コネクタパイプ後部のレバーを矢印の方向に倒すとガイドピンが抜けコネクタパイプが下へはずれます。
- (4) コネクタパイプがカウンタパイプに接触していないか確認しながら静かに前進してください。

▲ 注意

本作業機はトレッドが狭いため、旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時、転倒してケガをする事があります。低速走行してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. PTO軸、PIC軸、ジョイントスプライン部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

時 間	チェック項目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使用后 25～30 時間	ギヤケースのオイル	オイル交換
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②ギヤケースのオイル ③部品脱落・破損部 ④各部のボルト・ナットの緩み ⑤各部油もれ ⑥各部の油脂類 ⑦ナイフとシャバーの隙間 ⑧プレーンロールとスクレーパの隙間 ⑨ナイフの隙間 ⑩ナイフ研磨 ⑪タイヤ空気圧	給油 補充、交換 増し締め シールチェック破損時交換 給油項目に基づき給油、給脂 異常があれば 調整項目に基づきチェック
シーズン終了後	①ギヤケースのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 給油項目に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に基づき処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シュート・ヘッドが動かかない	①バッテリーとコントロールBOXの接続不良 ②ヒューズが切断 ③コントロールBOXスイッチ故障	配線をやり直す。白線(+)黒線(-)ヒューズを交換する。(15A)スイッチを交換する。
ギヤケース異常発熱	①オイル量が不足 ②ベアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までオイルを注入する。部品を交換する。
切断物の飛びが悪い	①供給物の水分が多い ②回転速度不足	供給物の水分調整をする 適正回転速度にする。
フィードロール食い込みが悪い	①供給量が多い ②ロールスプリングの張り不足	車速を落とす スプリング長さ215mmにする。
切断長さが不均一となる	①ナイフが摩耗 ②ナイフとシャバーの隙間が大きい	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。 ナイフとシャバーの隙間を再調整する。
馬力を喰う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。
ガイドピンが出ない	①解除レバーの締めすぎ ②スプリングが切損している	締め付けボルトを緩める。 スプリングを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

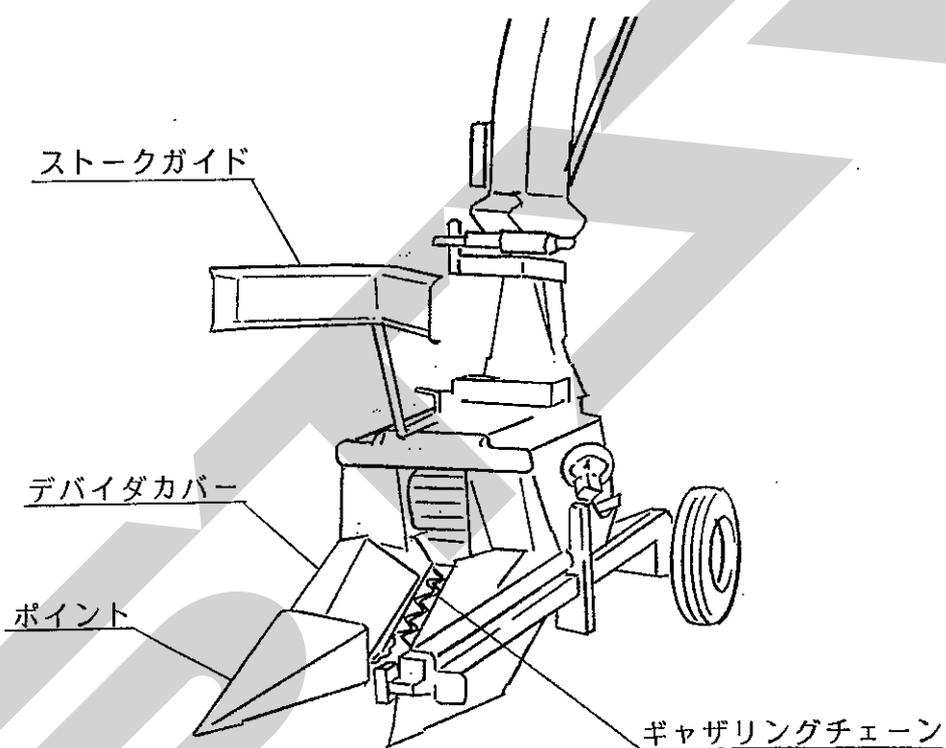
1. 製品名
2. 部品供給型式(型式)
3. 製造番号
4. 故障内容(できるだけ詳しく)

II ロックロップアタッチメント

1 本体への装着

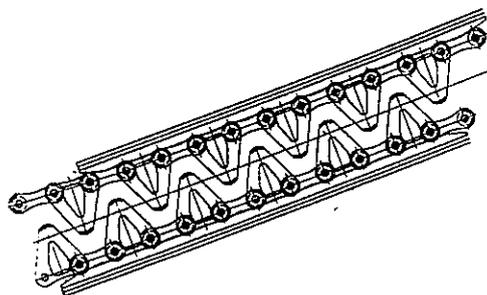
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



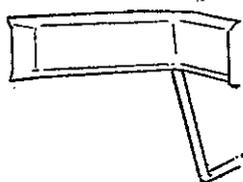
1. ギャザリングチェーン

長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）を挟んで本体のフィードロールまで搬送します。



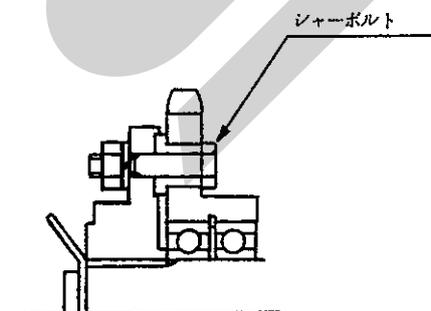
2. ストックガイド

長稈作物の茎の部分前方へ押し作物の流れを良くする働きをします。



3. シャーボルト

シャーボルトは機械に異常な負荷が掛かったとき、このボルトが切断して供給部の伝導関係が停止し、作業機の損傷を防止します。



2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

3 本体への装着

1. 本体への装着

▲ 注 意

- ハーベスタ本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをする事があります。トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。

- (1) ロックロップアタッチメントの取り付け部と本体側取り付け部を4本のボルトで固定します。
- (2) スプロケットにチェーンをかけ、テンションを張り、カバーを取り付けてください。

2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

異常な部品は無いか、給油は充分にされているか。

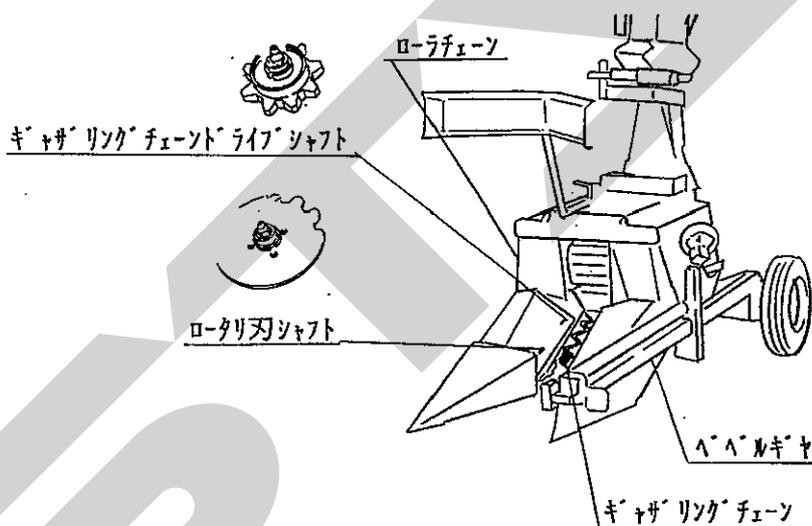
本体との連結は確実に行われているか。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。

毎日の作業前に必ず給油しましょう。



2 エンジン始動での点検

無負荷運転での異常音は無いか。

トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ロータリ刃シャフト	2	グリース	使用毎	適量	グリースニップル
2	ギャザリングチェーンドライブシャフト	2	〃	〃	〃	グリースニップル
3	ベベルギヤ	4	〃	シーズン毎	〃	グリース塗布
4	ローラチェーン	1	オイル	使用毎	〃	オイル塗布
5	ギャザリングチェーン	2	〃	〃	〃	オイル塗布

※ギャザリングチェーンへの給油は、使用後チェーンの暖かいうちに行ってください。

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本アタッチメントの使用目的

長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。

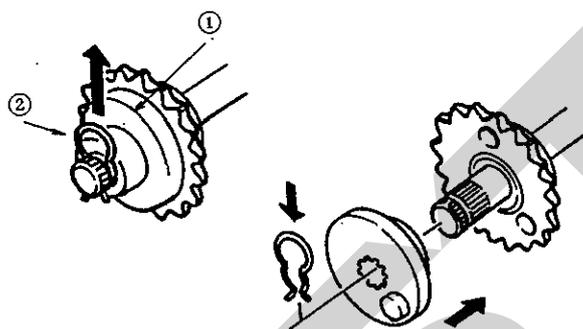
これ以外の目的には使わないでください。

2 作業要領

枕刈及び中刈したコーン等を手供給するときは、ロータリー刃、ギャザリングチェーンの駆動を停止させてください。

クラッチカバーを開け、クリップ②を抜き、クラッチホルダ①を裏返しにつけかえます。

駆動が停止し、供給作業ができます。



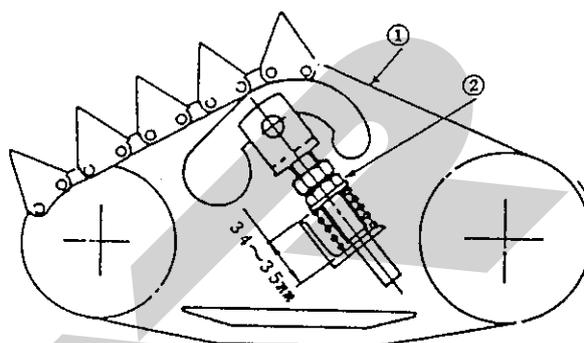
▲ 危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行ってください。

3 各部の調整（快適な作業のために）

1. ギャザリングチェーンの張り

ギャザリングチェーンのスプリング①の張りは図示の通り34~35mmになるようにナット②で調整します。

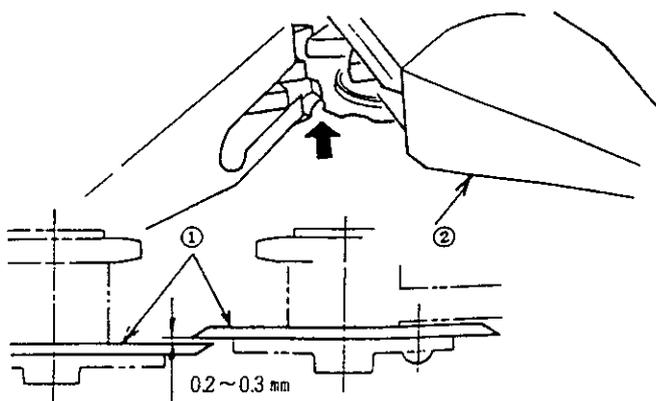


2. ナイフ（ロータリー刃）

▲ 注意

- ナイフの隙間調整時、ロックロップアタッチが不意に降下してケガをする事があります。落下を防ぐためにフレームの下に降下防止のためブロックや枕木等を入れてください。

ナイフの隙間は0.2~0.3mmに調整します。



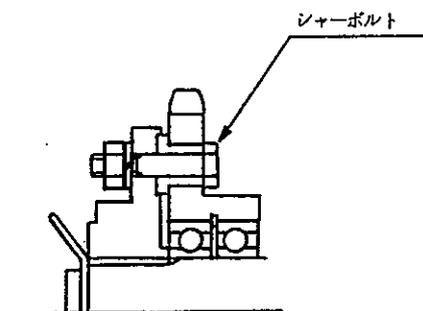
3. シャーボルト

図に示すシャーボルトは過負荷時、このボルトが切断して供給部への動力の伝達を停止し、作業機の損傷を防止します。

付属品としてシャーボルト (M6×30) が3本用意してあります。

取扱上の注意

このシャーボルトはSTAR純正品を使用してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増し締め、部品の交換をしてください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

時 間	チェック項目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤ギャザリングチェーンの張り ⑥ナイフの隙間 ⑦ナイフ研磨	補充、交換 増し締め 給油項目に基づき給油、給脂 調整項目に基づきチェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①ベベルギヤのグリース ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 給油項目に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に基づき処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ナイフ（ロータリ刃）の異常発熱	①スクレーパの接触圧が大きい ②スクレーパへの雑草の詰まり ③ナイフ取付部ボスへの雑草の巻付	スクレーパとナイフの隙間のシム調整 雑草を取り除く 雑草を取り除く
馬力を喰う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。
ギャザリングチェーンが飛ぶ	①チェーンの張りが弱い ②ナイフ取付部ボスへの雑草の巻付 ③ナイフが摩耗	点検と調整参照 雑草を取り除く ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

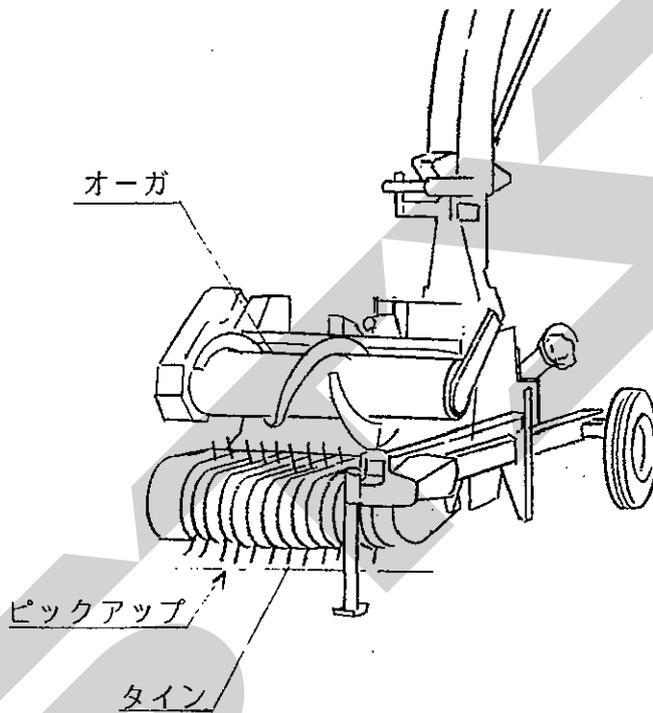
1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

Ⅲ ピックアップアタッチメント

1 本体への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

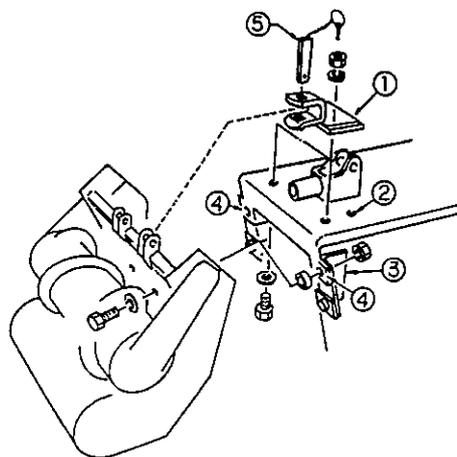
- ①ブラケットを②に取り付けてください。
(ボルト; M10×25、ナット、Sワッシャを使用します)
- ③を固定している④ボルト; M8×20の上側左右1本ずつを外してください。
- 機体が最も高くなる位置に、本体のタイヤを調整してください。
- 本体側①ブラケットをピックアップアタッチメントのピンにはめ込み、⑤ロックプレートを差し込んでください。
- 本体を持ち上げ、下側をボルトで固定してください。
(ロックロップアタッチメント取り付けボルト; M10×25をそのまま使用し、付属のワッシャ; 10を入れ固定してください。)
2. で外したボルトの箇所、付属のボルト; M8×30で固定してください。
(本体とアタッチの間、厚さ6mmのワッシャ、ボルト頭側に厚さ2.3mmのワッシャを使用します。)
- スプロケットに付属のチェーンをかけ、テンションを張ってください。

3 本体への装着

1. 本体への装着

▲ 注 意

ハーベスタ本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをする事があります。トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。



2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

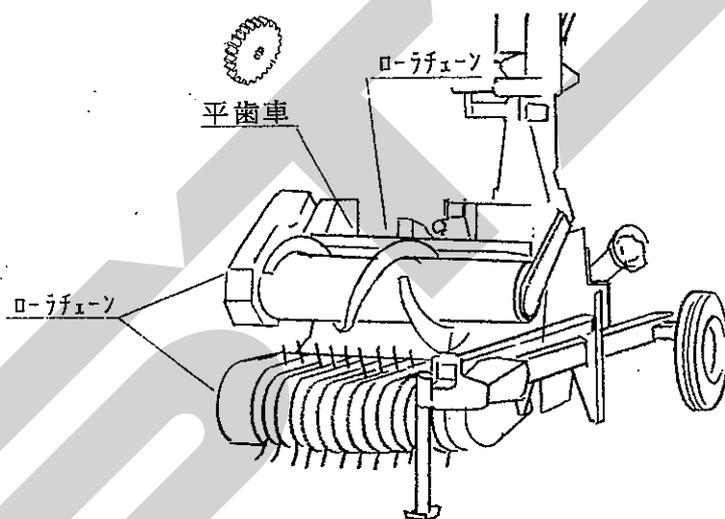
異常な部品は無いか、給油は十分にされているか。
 本体との連結は確実に行われているか。

2 エンジン始動での点検

無負荷運転での異常音は無いか。
 トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。毎日の作業前に必ず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	平歯車	1	グリース	使用ごと	適量	グリース塗布
2	ローチェーン	3	オイル	〃	〃	オイル塗布

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

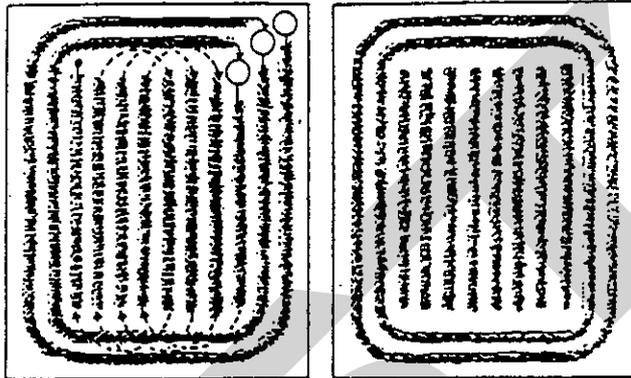
1 本アタッチメントの使用目的

牧草の飼料調整に使用します。
これ以外の目的には使わないでください。

2 作業要領

効率の良い作業を行うためにウィンドロー（集草列）は、均一で少な目に作ってください。ウィンドロー幅は60～80cm程が目安です。

また作業機がほ場内をスムーズに作業できるような作業効率のよいウィンドローの作り方を工夫しましょう。



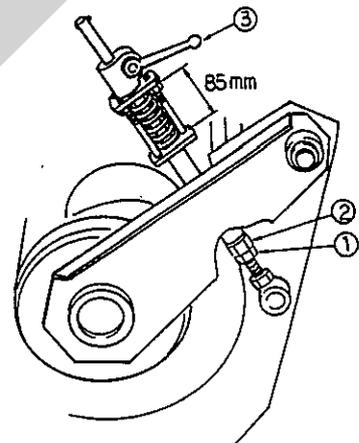
▲ 危険

- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、PTOおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

3 各部の調整（快適な作業のために）

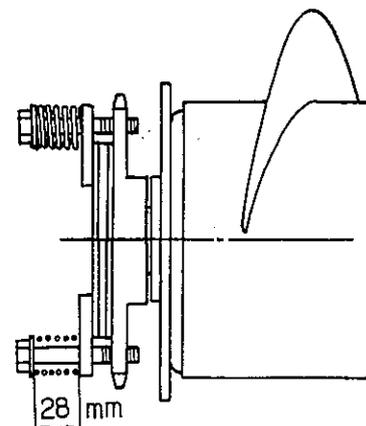
1. オーガスプリングの調整

- (1) オーガをピックアップされた牧草に押しつけて、横送りを助ける働きをします。スプリングの標準長さは85mmです。
- (2) オーガの高さ調整は、①ロックナットをゆるめ、②ナットを回すことで行います。スクレーパと当たらないように調整してください。
調整後、①ロックナットで固定してください。
- (3) 作業中オーガに収穫物が詰まった時には、両側の③ハンドルをゆるめ、オーガを持ち上げ、再度ロックしてください。収穫物にかかっている力が取り除かれますので、取り除き易くなります。
収穫物を取り除いた後③ハンドルをゆるめ、オーガを下げて再度ロックしてください。



2. スリップクラッチの調整

オーガ部には、過負荷時の安全装置としてスリップクラッチが装備されています。
スプリングの標準長さは、28mmです。



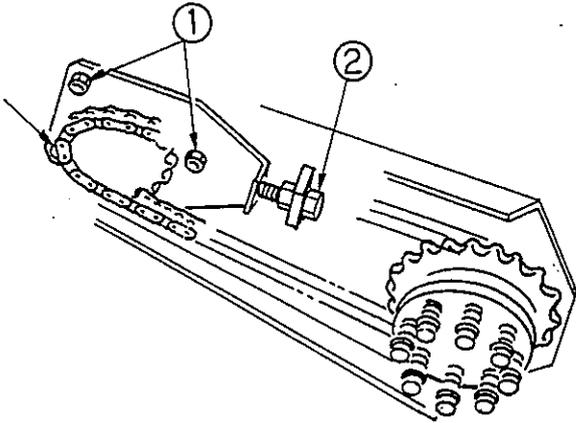
取扱上の注意

フェーシング部分には給油しないでください。スリップして作業ができなくなります。

3. オーガテンションの調整

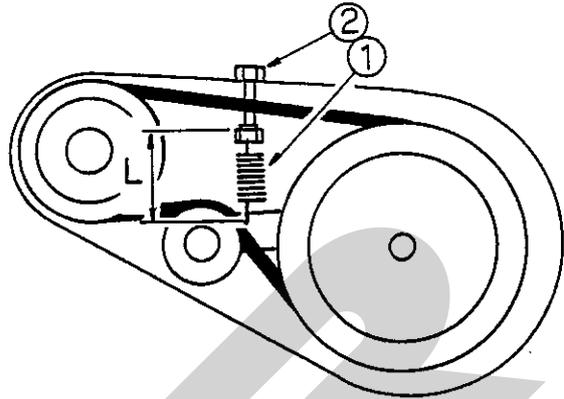
オーガ軸受のボルト①をゆるめ押しボルト②で調整します。

テンション量がいっぱいになった時は元の位置に戻し、チェーンのオフセットリンク（半コマ）を一個外してください。



4. ピックアップVベルトの調整

- (1) ピックアップカバーを外して、①テンションスプリングを引張っている②ボルトで調整してください。
- (2) $L=75\text{mm}$ が適正值です。



取扱上の注意

張りすぎると、過負荷がかかった場合Vベルトがスリップしなくなるため、ピックアップに無理な力がかかり、故障の原因になります。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。

2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

時 間	チェック項目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤オーガスプリング ⑥スリップクラッチ ⑦オーガテンション	補充、交換 増し締め 給油項目に基づき給油、給脂 □ 異常あれば再調整 早めの部品交換
シーズン終了後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④チェーン、回動支点等の摩耗 ⑤塗装損傷部	給油項目に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に基づき処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ピックアップがスリップして牧草が拾えない	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガがスリップする	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガに巻き付く	①オーガとスクレーパの隙間が多い	隙間を調整する

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（ " ）
- ⑤ 個 数（ " ）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示していません。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト  2付	2
2	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A（G）

（メッキ仕上げ）
A；ナット・スプリングワッシャ付
D；ナット2個付
N；ナット付
P；ワッシャ付
W；スプリングワッシャ付

5. 個数欄の・は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

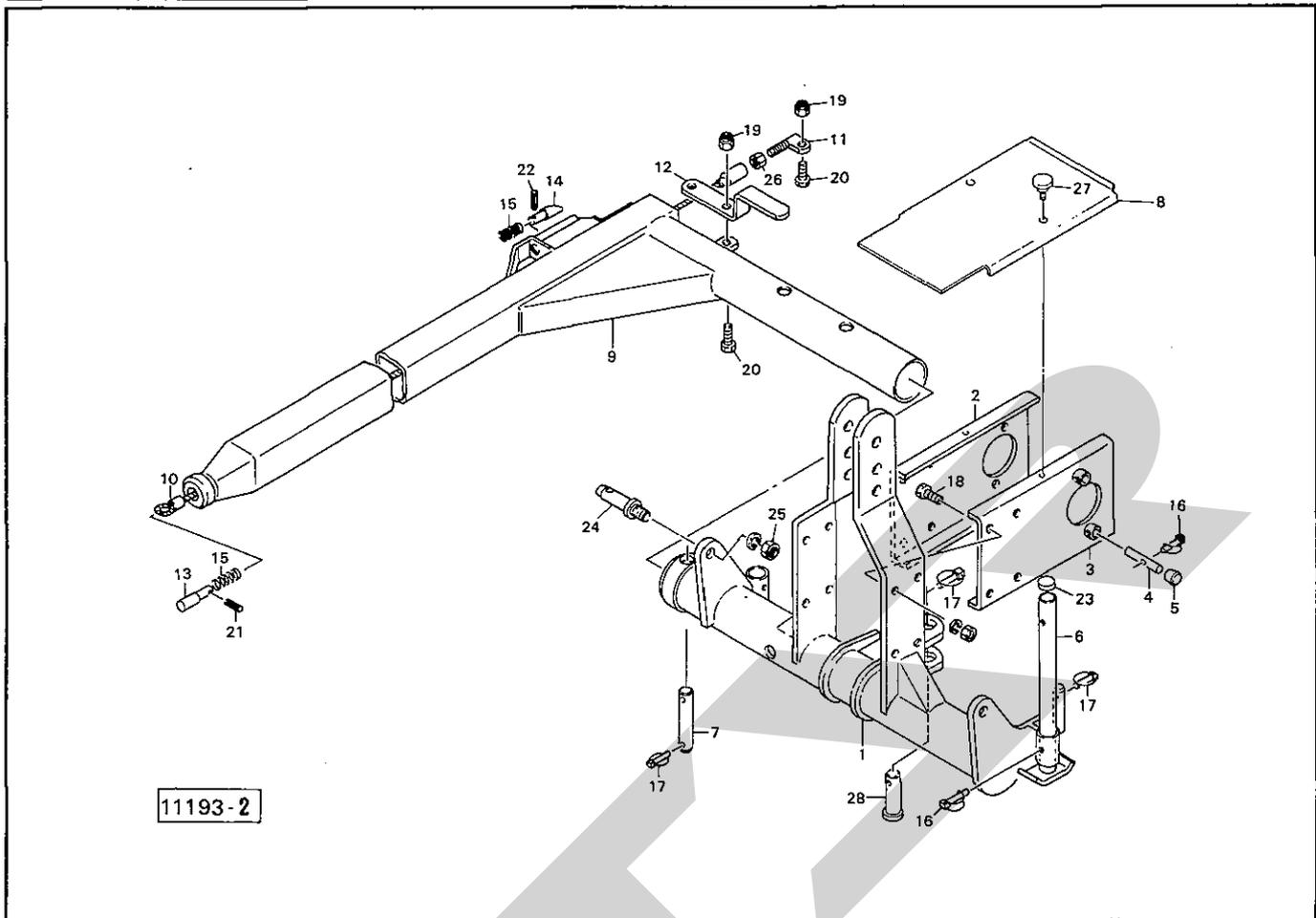
…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

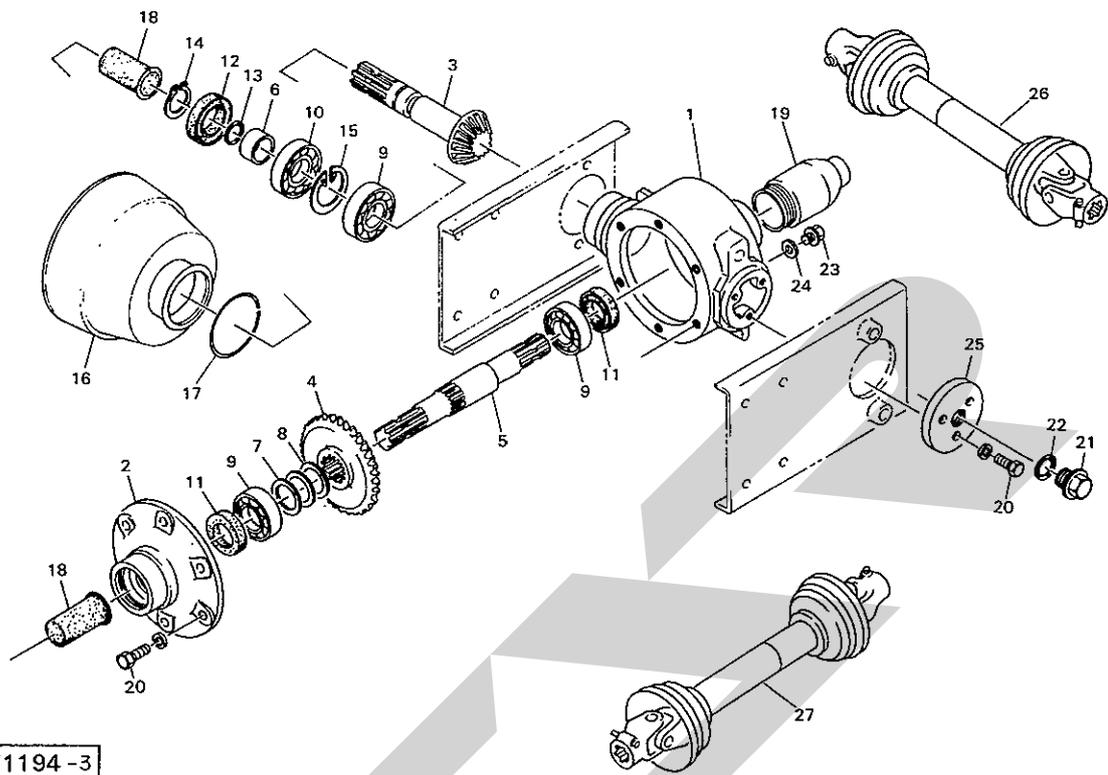
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ ドッキングフレーム、ヒッチ



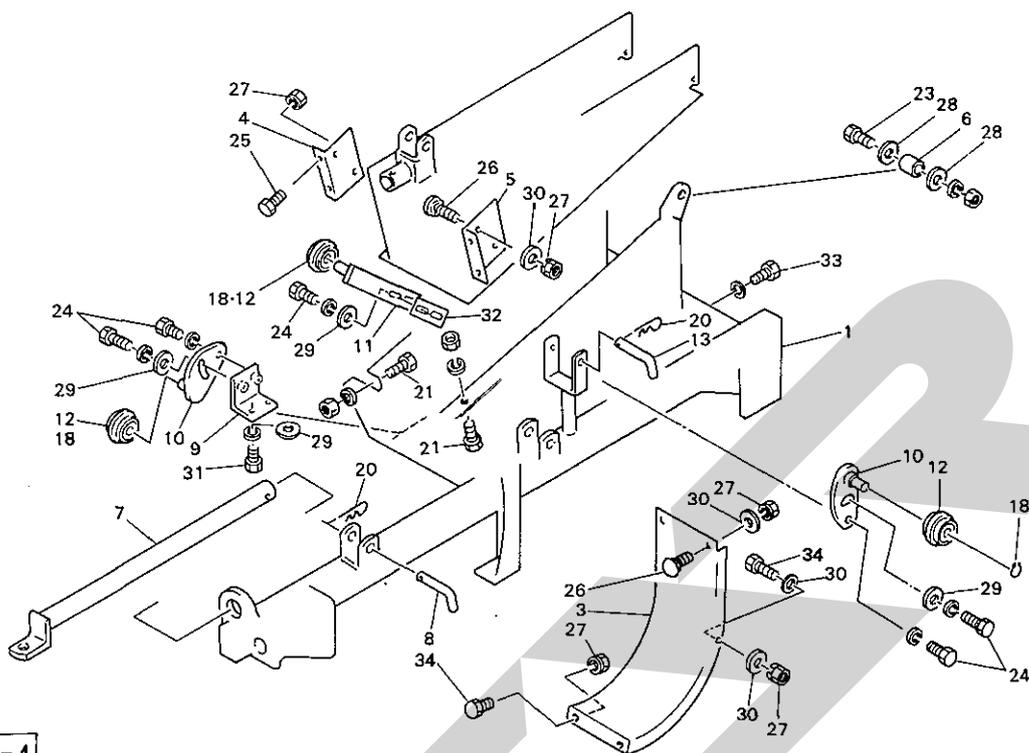
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	76512	ヒッチ	1	26	NZ12G	ナット; M12(8)	1
2	76168	ホルダ; R	1	27	00690	ニギリ; M8×14	2
3	76169	ホルダ; L	1	28	82173	ピン	1
4	74607	ピン	1				
5	00687	ニギリ; 16	1				
6	00702	スタンド; 350	2				
7	67922	ピン	1				
8	76170	カバー	1				
9	76167	コネクタパイプ	1				
10	76509	ワイヤー	1				
11	67925	ホルダ	1				
12	74611	レバー	1				
13	59672	ガイドピン	1				
14	57960	ロックピン	1				
15	57897	スプリング	2				
16	00453	デルタピン; 9	3				
17	PR09	リンチピン; 9	4				
18	BZ1030AG	ボルト; M10×30(8.8)	8				
19	NN10G	ナイロンナット; M10	2				
20	BZ1030G	ボルト; M10×30(8.8)	2				
21	PS6018	スプリングピン; 6×18	1				
22	PS6032	スプリングピン; 6×32	1				
23	00851	キャップ; φ28.6	2				
24	00006	ローリンクピン	Ⓜ25付 2				
25	NZ22150WG	ナット; M22×1.5	2				

MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ ドッキングフレーム、ギヤボックス



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	94491	ギヤケース	1	26	00615	パワージョイント; SG-080	1
2	74221	サイドキャップ	1	27	00622	パワージョイント; ME-060	1
3	74219	ベベルピニオン; M4×15T	1				
4	74220	ベベルギヤ; M4×35T	1				
5	74385	シャフト	1				
6	74613	カラー	1				
7	44585	シム	-				
8	44586	シム	-				
9	J6207	ベアリング; 6207	3				
10	J6007	ベアリング; 6007	1				
11	UE356210	オイルシール; UE356210	2				
12	UE45629	オイルシール; UE45629	1				
13	ORG30	Oリング; G30	1				
14	DC35	スナップリング; S35	1				
15	DHC62	スナップリング; H62	1				
16	00823	PICカバー; I	1				
17	00825	リング; S	1				
18	96089	PICキャップ; 35	2				
19	34616	ガード	1				
20	BZ1030WG	ボルト; M10×30(8.8)	9				
21	59133	チェックプラグ	1				
22	ORP20	Oリング; P20	1				
23	00338	プラグ; M10	1				
24	00339	パッキン; M10	1				
25	74614	プレート	1				

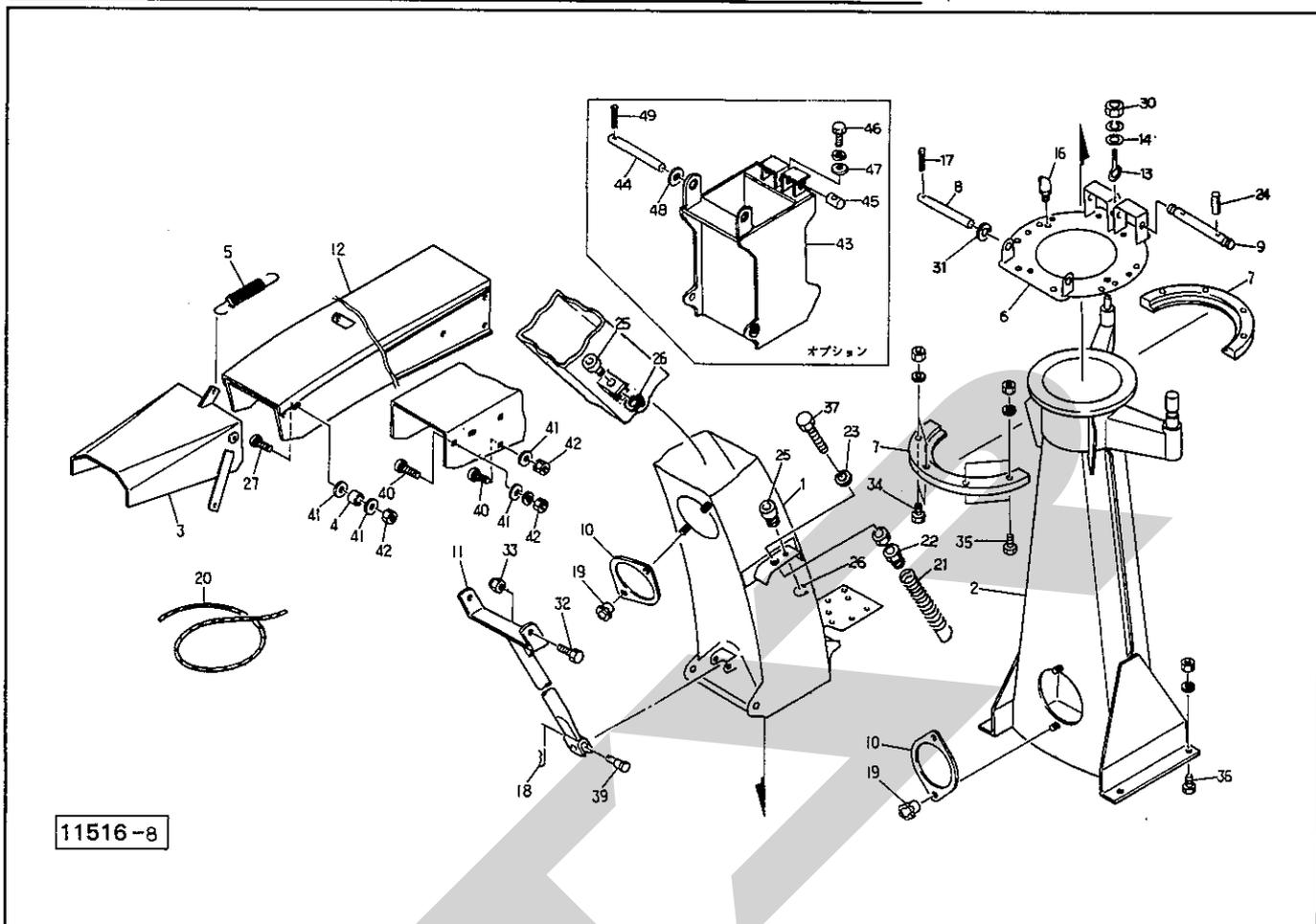
MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ フレーム



11288-4

見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	85876	サブフレーム	1	26	55474	カクネボルト; M8×20	4
				27	NP08G	スプリングナット; M8	20
3	76118	ボトムプレート	1	28	42783	ワッシャ; 12	4
4	76120	アングル; R	1	29	44098	ワッシャ; 10	6
5	76121	アングル; L	1	30	44097	ワッシャ; 8	22
6	74545	カラー	2	31	BZ1035WG	ボルト; M10×35 (8.8)	2
7	74546	ドロバ	1	32	81031	シム	—
8	73756	ピン	1	33	BZ2045WG	ボルト; M20×45 (8.8)	2
9	76126	ブラケット	1	34	BZ0825G	ボルト; M8×25 (8.8)	10
10	76127	テンションアーム	2				
11	74496	テンションアーム	1				
12	81267	テンションロール	3				
13	59657	ピン	1				
18	DC17	スナップリング; S17	3				
20	PM0816G	ペータピン; 8×1.6	2				
21	BZ1025AG	ボルト; M10×25 (8.8)	6				
23	BZ1240AG	ボルト; M12×40 (8.8)	2				
24	BZ1030WG	ボルト; M10×30 (8.8)	6				
25	BZ0820G	ボルト; M8×20 (8.8)	4				

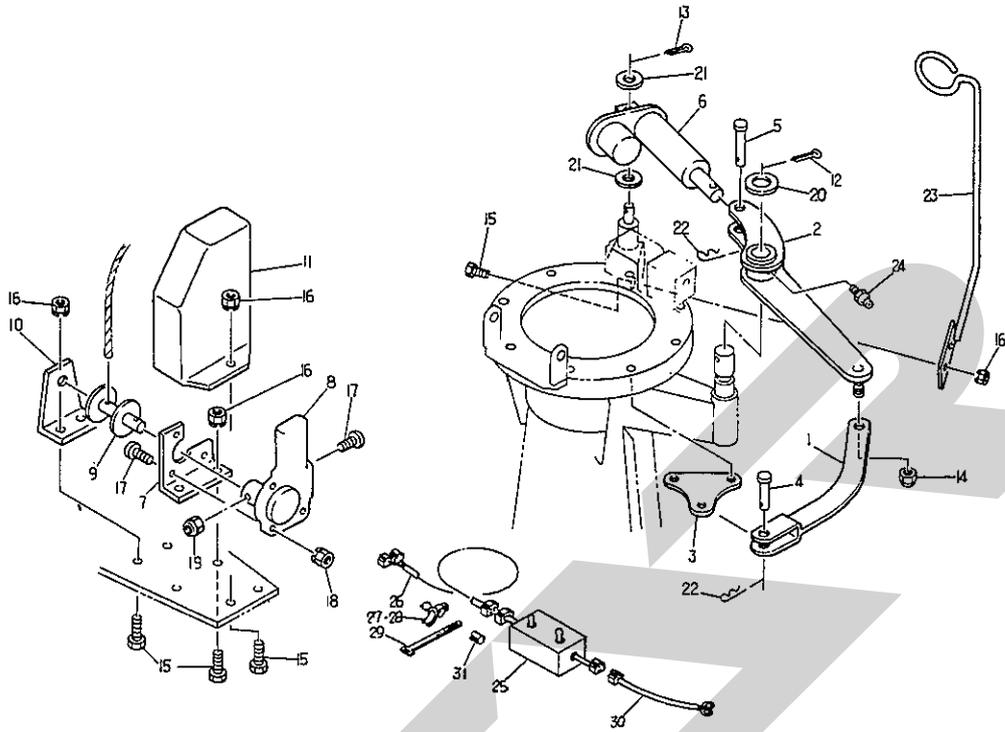
MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ シュート



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	96532	シュート	1	26	DC20	スナップリング; S 20	2
2	85897	ダクト	1	27	00443	カクネボルト; M10×35 (8.8)	3
3	90612	ヘッド	1				
4	84346	カラー	3				
5	84083	スプリング	1	30	NZ12WG	ナット; M12	1
6	99713	フランジ	1	31	42322	ワッシャ; 16	2
7	74657	ホイール	2	32	BZ1030G	ボルト; M10×30 (8.8)	2
8	82513	ピン	1	33	NN10G	ナイロンナット; M10	2
9	96534	ピン	1	34	BZ1045AG	ボルト; M10×45 (8.8)	4
10	55640	フランジ	2	35	BZ1035AG	ボルト; M10×35 (8.8)	4
11	82657	ステー	1	36	BZ1020AG	ボルト; M10×20 (8.8)	4
12	82520	イクステンションシュート	1	37	BZ12100NG	ボルト; M12×100 (8.8)	2
13	96536	アイボルト	1				
14	67931	ワッシャ; 12	1	39	76132	ピン	1
				40	00451	カクネボルト; M10×25 (8.8)	6
16	ONBS6	グリースニップル; B-M6×1F	4	41	44098	ワッシャ; 10	12
17	PC3232G	ワリピン; 3.2×32	2	42	NZ10WG	ナット; M10 (8)	9
18	00085	ベータピン; 8×1.6	1	ASY	96389	イクステンション (クミ) ④43~49付	※ 1
19	44289	ニギリ; M8	4	43	46945	イクステンション	※ 1
20	82678	ロープ; 4.5×3500	1	44	82513	ピン	※ 1
21	96535	スプリング; H70×36×585	2	45	57347	ナット; M12	※ 1
22	70286	スプリングホルダ	2	46	BZ1260WG	ボルト; M12×60 (8.8)	※ 1
23	25266	キューメンザガネ	2	47	67931	ワッシャ; 12	※ 1
24	PS5032	スプリングピン	2	48	42322	ワッシャ; 16	※ 2
25	66672	ガイド	2	49	PC3232G	ワリピン; 3.2×32	※ 2

※印 オプション

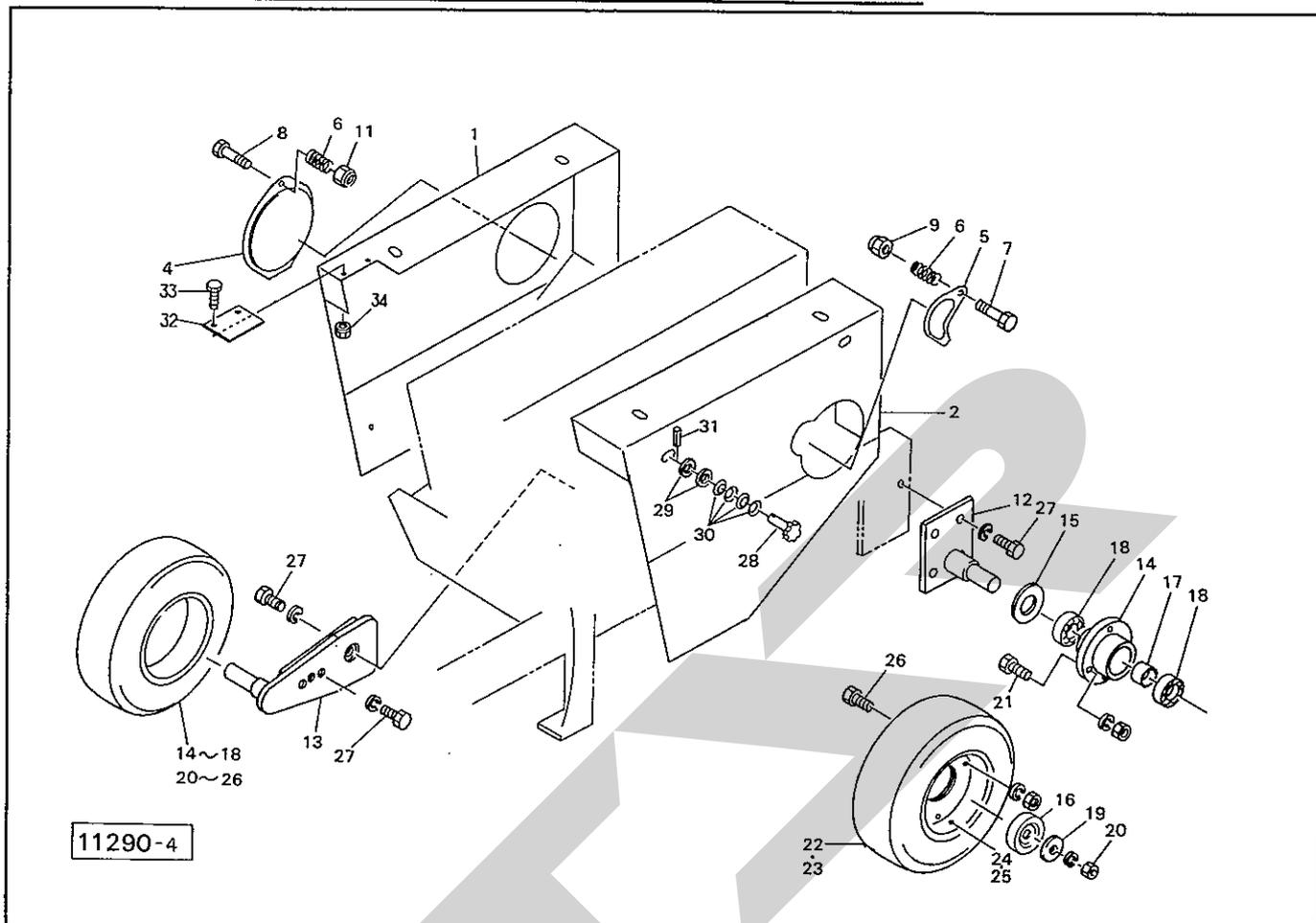
MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ シュートコントロール



11518-3

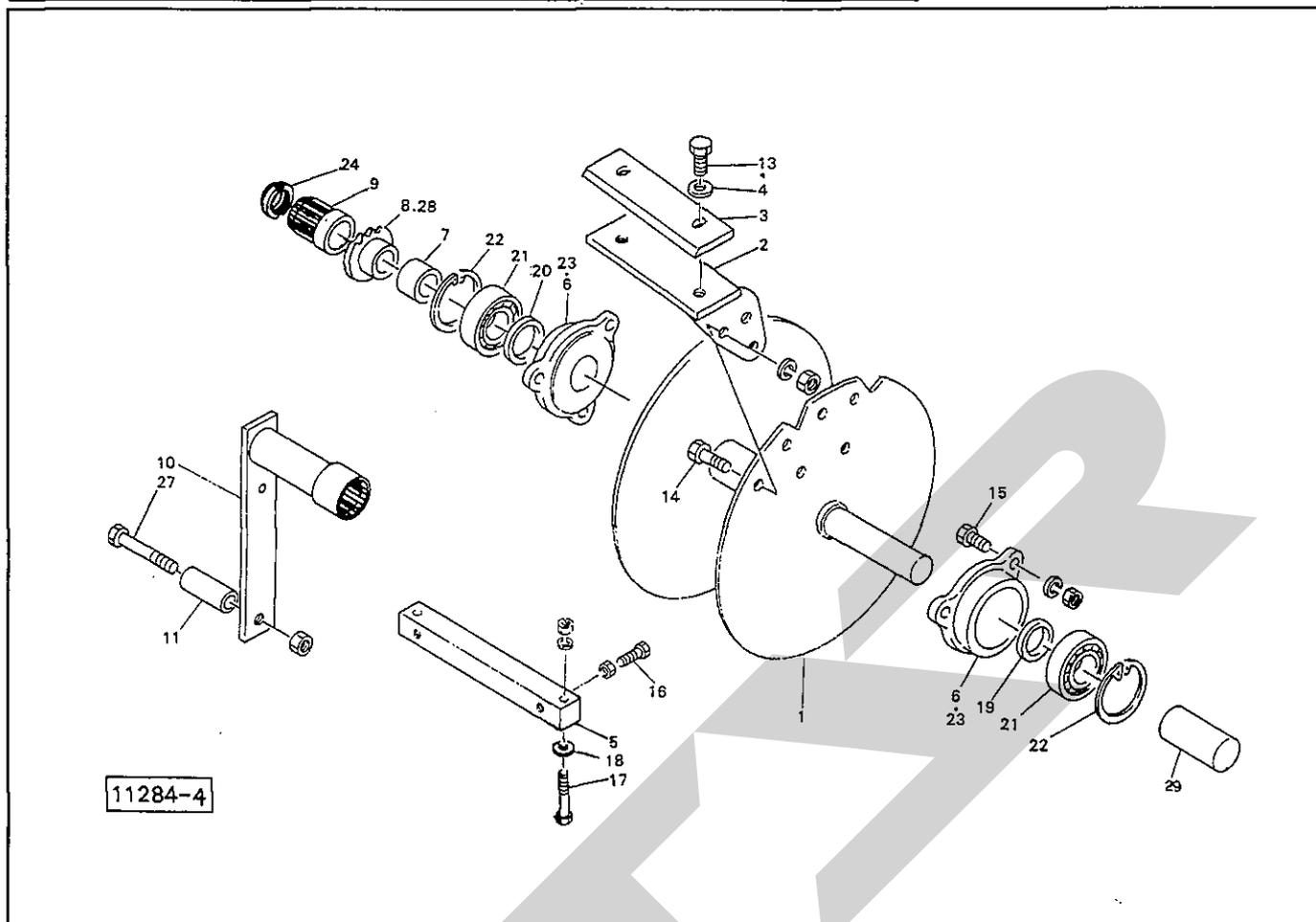
見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	82348	ステー	1	26	82144	コード	1
2	82349	ブラケット	1	27	EZAIS	パイラック; IS型	1
3	74668	プレート	2	28	EZB 15C	パイラッククリップ; 15-C	1
4	00062	アタマツキピン; 12×35	1	29	ILT 50R	インシュロック; T50R	3
5	00066	アタマツキピン; 12×55	1	30	82143	コード	1
6	82353	デンドウシリンダ	1	31	71685	パイプ	1
7	70347	ブラケット	1				
8	70351	パワーウインドモータ	1				
9	72942	プーリー	1				
10	72944	アングル	1				
11	70343	カバー	1				
12	PC5036G	ワリピン; 5×36	1				
13	PC3216G	ワリピン; 3.2×16	1				
14	NN10G	ナイロンナット; M10	1				
15	BZ0820G	ボルト; M8×20(8.8)	8				
16	NP08G	スプリングナット; M8	8				
17	CP0625G	ナベコネジ; M6×25	4				
18	NP06G	スプリングナット; M6	3				
19	NN06G	ナイロンナット; M6	1				
20	WRA24G	ワッシャ; M24	1				
21	42783	ワッシャ; 12	2				
22	00085	ベータピン; 8×1.6	2				
23	82522	コードウケ	1				
24	ONAS6G	グリースニップル; A-M6×1F	1				
25	82142	スイッチボックス	1				

MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ カバー・アクスル



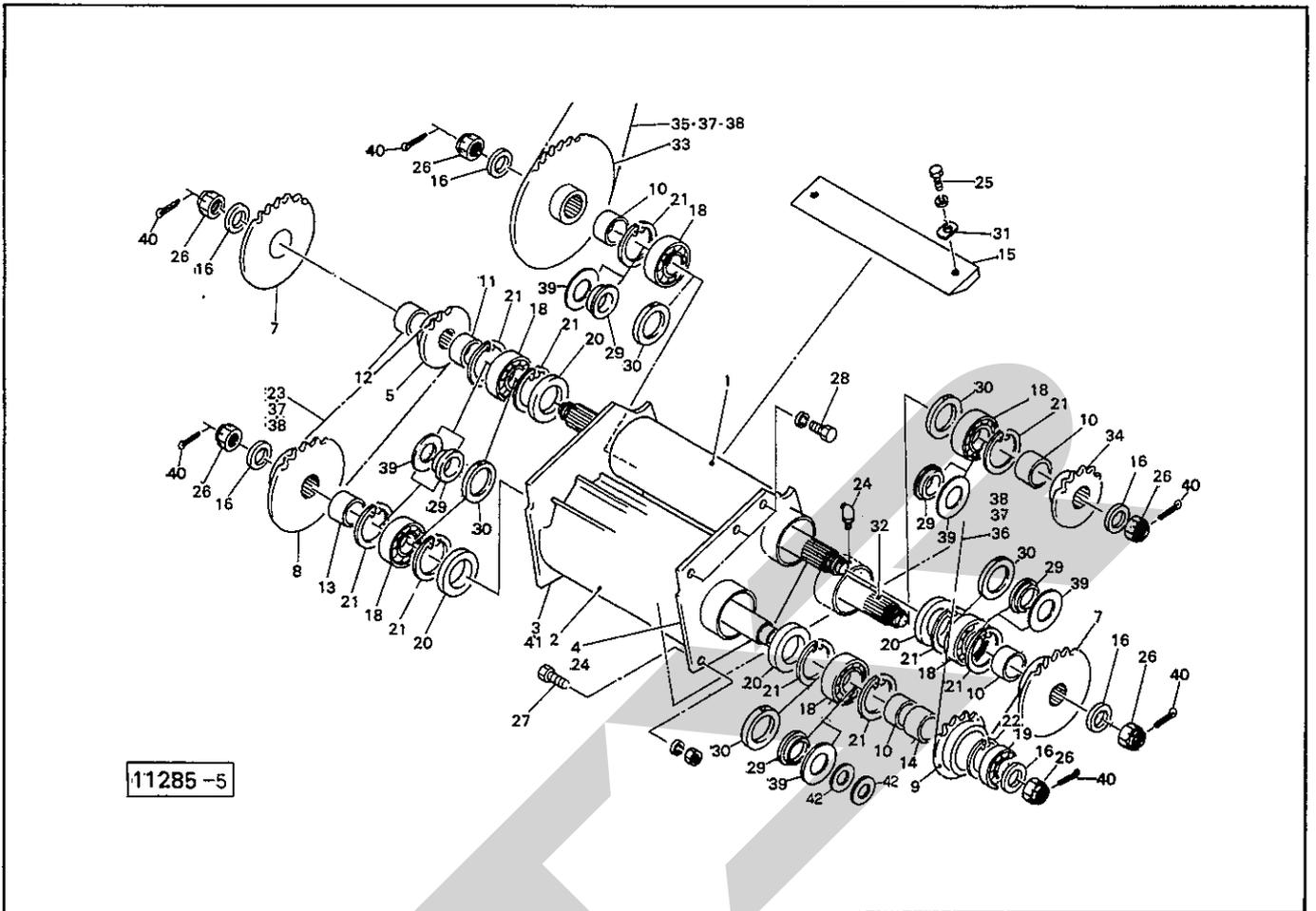
番 号	部品番号	部 品 名 称	個 数	番 号	部品番号	部 品 名 称	個 数
1	85893	カバー; R	1	26	BA0820AG	ボルト; M8×20	8
2	85894	カバー; L	1	27	BZ1235WG	ボルト; M12×35(8.8)	6
				28	79658	ニギリ; 50	6
4	43291	クランクカバーフランジ	1	29	WRA08G	ワッシャ; M8	12
5	43298	カバー	1	30	79659	サラバネ	24
6	43299	カバーロックバネ	2	31	PS4016	スプリングピン; 4×16	6
7	BZ0835G	ボルト; M8×35(8.8)	1	32	94415	プレート	1
8	BZ1040G	ボルト; M10×40(8.8)	1	33	BA0816G	ボルト; M8×16	2
9	NN08G	ナイロンナット; M8	1	34	NP08G	スプリングナット; M8	2
11	NN10G	ナイロンナット; M10	1				
12	87261	アクスル	1				
13	87262	アクスル	1				
14	00519	ハブ	2				
15	76507	キャップ; M	2				
16	00763	キャップ	2				
17	00520	カラー	2				
18	J6205LLU	ベアリング; 6205LLU	4				
19	72968	ワッシャ	2				
20	NZ14WG	ナット; M14(8)	2				
21	BZ1030AG	ボルト; M10×30(8.8)	8				
22	57678	タイヤ; 4.00-8-6PR	2				
23	57679	チューブ; 4.00-8	2				
24	57677-1	ホイール; 3.00D-8DT ㊟25付	2				
25	57677-2	ホイール(バルブ穴付) 3.00D-8DT	2				

MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ フライホイール



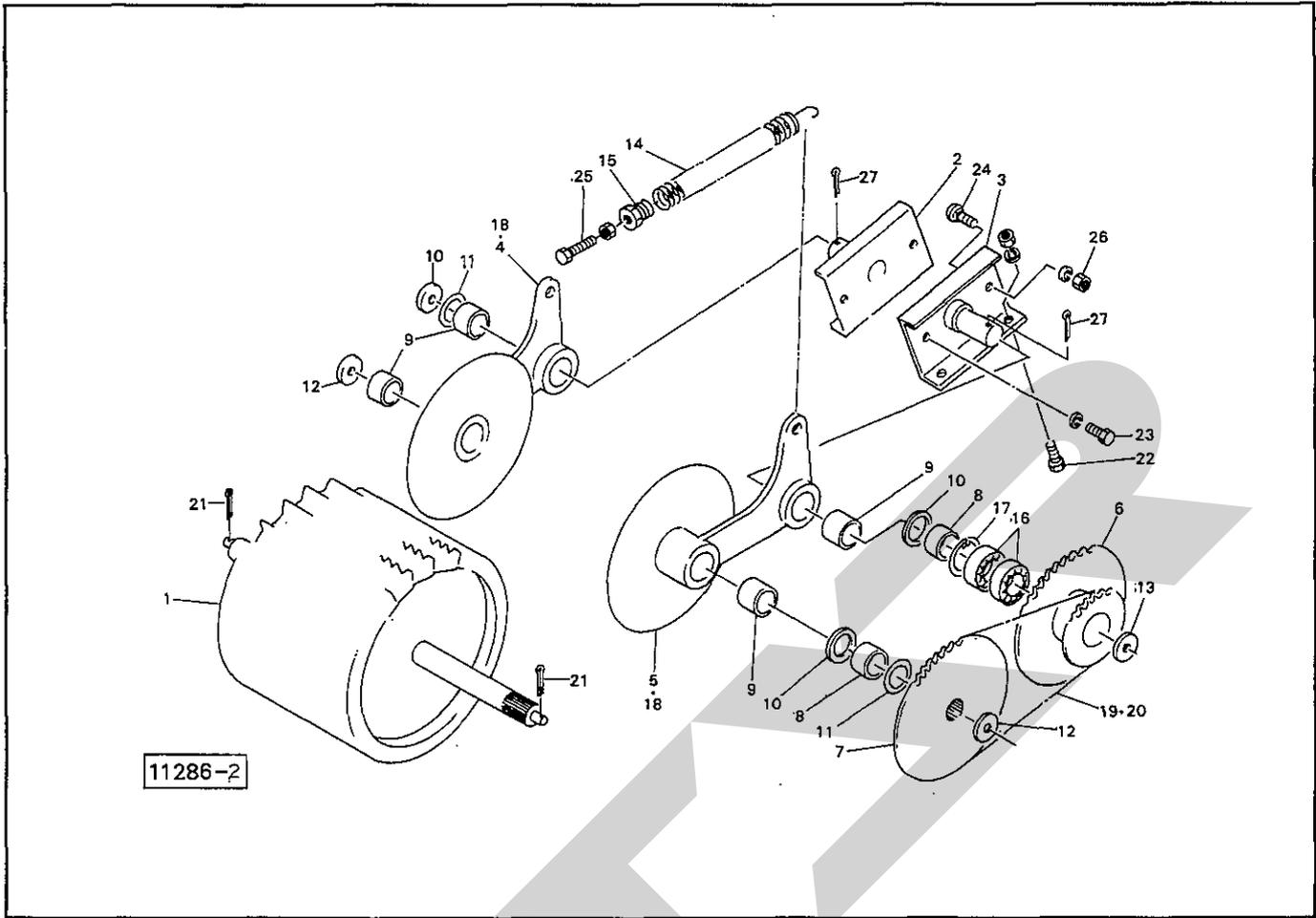
見番 出号	部品番号	部 品 名 称	個数	見番 出号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	85866	フライホイール	1				
2	76035	ナイフホルダ	6	27	BZ1290NG	ボルト; M12×90(8.8)	1
3	76033	ナイフ	6	28	76050	スプロケット; 12T(オプション)	
4	81029	ハイテンワッシャ; 14	12	29	00096	PiCキャップ; 35	
5	76034	シャバー	1				
6	74386	ハウジング	2				
7	74486	カラー	1				
8	92084	スプロケット; 15T	1				
9	85003	アダプタ	1				
10	62494	ハンドル	1				
11	24118	グリップ	1				
12	PM1623G	ベータピン; 16×2.3	1				
13	BZT1415030G	ボルト; M14×1.5×30(10.9)	12				
14	BZT1430AG	ボルト; M14×30(10.9)	36				
15	BZ1440AG	ボルト; M14×40(8.8)	6				
16	BZA1250NG	ボルト; M12×50(全ネジ)(8.8)	2				
17	BZ1265AG	ボルト; M12×65(8.8)	2				
18	72013	ハイテンワッシャ; M12	2				
19	KE40525	オイルシール; KE40525	1				
20	KE35525	オイルシール; KE35525	1				
21	J6207LLU	ボールベアリング; 6207LLU	2				
22	DHC72	スナップリング; H72	2				
23	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	2				
24	85801	ロックナット; M20×1	1				

MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ ボトムロール・カウンタ



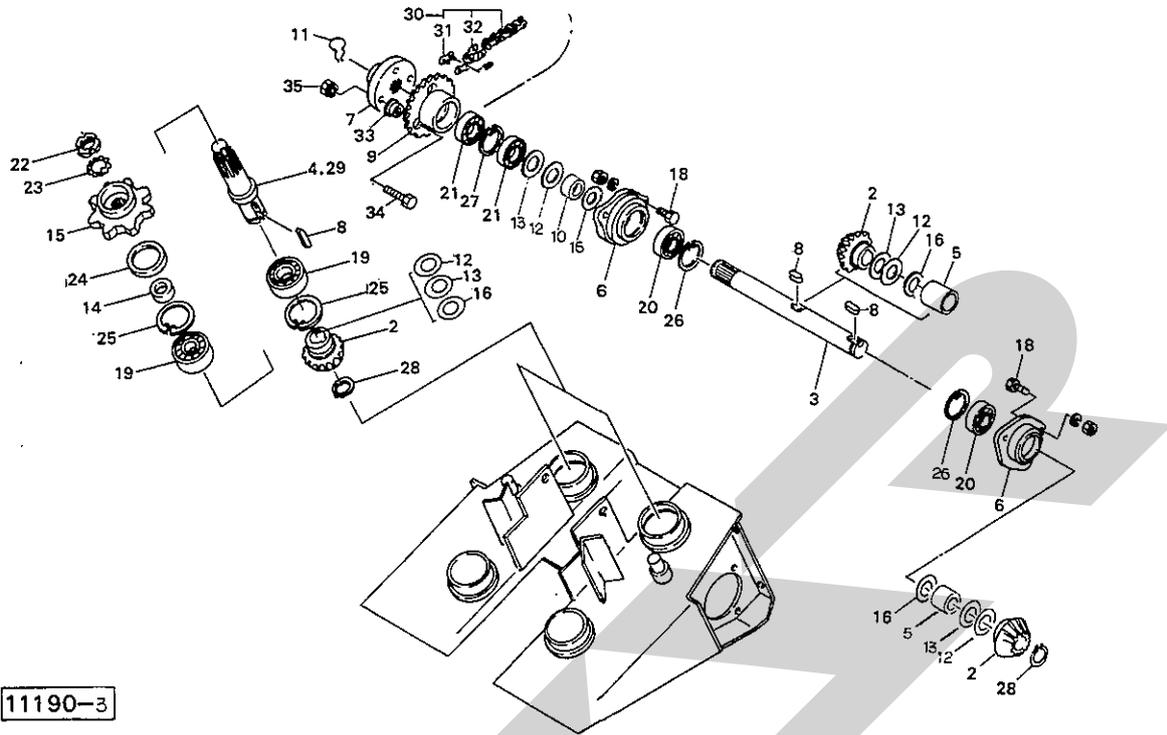
見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	85900	プレーンロール	1	26	NC20150	キャスルナット(低形2種); M20×1.5	6
2	76046	フロントロール	1	27	BZ1020AG	ボルト; M10×20(8.8)	6
3	86595	ブラケット; R	1	28	BZ0816WG	ボルト; M8×16(8.8)	6
4	86596	ブラケット; L	1	29	86597	カラー	6
5	76050	スプロケット; 12T	1	30	86598	カラー	6
				31	94311	ワッシャ	2
7	55102	スプロケット; 18T	2	32	76042	カウンタシャフト	1
8	61917	スプロケット; 20T	1	33	92085	スプロケット; 34T	1
9	76051	スプロケット; 16T	1	34	74615	スプロケット; 13T	1
10	60944	カラー	3	35	LA5060	ローラチエン; 50×60 ㊟37,38(2ヶ付)	1
11	60160	カラー	1	36	LA5079	ローラチエン; 50×79 37付	1
12	55705	カラー	1	37	AA50	ツギテ; 50	3
13	64523	カラー	1	38	AD50	1ピッチオフセット; 50	3
14	55449	カラー	1	39	86599	プレート	6
15	84484	スクレーパ	1	40	PC3232G	ワリピン; 3.2×3.2	6
16	75318	ザガネ	6	41	ONAS6	グリスニップル; A-M6×1F	2
				42	44214	ワッシャ	2
18	J6205LLU	ベアリング; 6205LLU	6				
19	J6005LLU	ベアリング; 6005LLU	1				
20	KE30525	オイルシール; KE30525	4				
21	DHC52	スナップリング; H52	10				
22	DHC47	スナップリング; H47	1				
23	LD5029	ローラチエン; 50×29 ㊟37,38付	1				
24	ONBS6	グリスニップル; B-M6×1F	4				
25	BZ0820WG	ボルト; M8×20(8.8)	2				

MCH2060 コーンハーベスタ、MPH2060 ピックアップハーベスタ フィードロール



目録 番号	部品番号	部 品 名 称	個数	目録 番号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	46902	フィードロール	1	26	NZ08WG	ナット; M8(8)	2
2	86600	カウンタシャフト; R	1	27	PC5036G	ワリピン; 5×36	2
3	90478	カウンタシャフト; L	1				
4	76059	ガイドアーム; R	1				
5	90479	ガイドアーム; L	1				
6	74522	スプロケット	1				
7	62496	スプロケット; 32T	1				
8	76052	カラー	2				
9	55463	ブッシュ	4				
10	60807	ザガネ; φ25.5×3.2	3				
11	44214	ワッシャ	/				
12	75318	ザガネ	2				
13	64523	カラー	1				
14	79040	スプリング	2				
15	55480	スプリングホルダ	2				
16	J6005LLU	ベアリング; 6005LLU	2				
17	DHC47	スナップリング; H47	1				
18	ONBS6	グリースニップル; B-M6×1F	4				
19	LA5044	ローラチェーン; 50×44 (20付)	1				
20	AA50	ツギテ; 50	1				
21	PC3232G	ワリピン; 3.2×32	2				
22	BZ0825AG	ボルト; M8×25(8.8)	4				
23	BP0820G	スプリングボルト; M8×20	2				
24	55474	カクネボルト; M8×20(8.8)	2				
25	BZA1060NG	ボルト; M10×60全ネジ(8.8)	2				

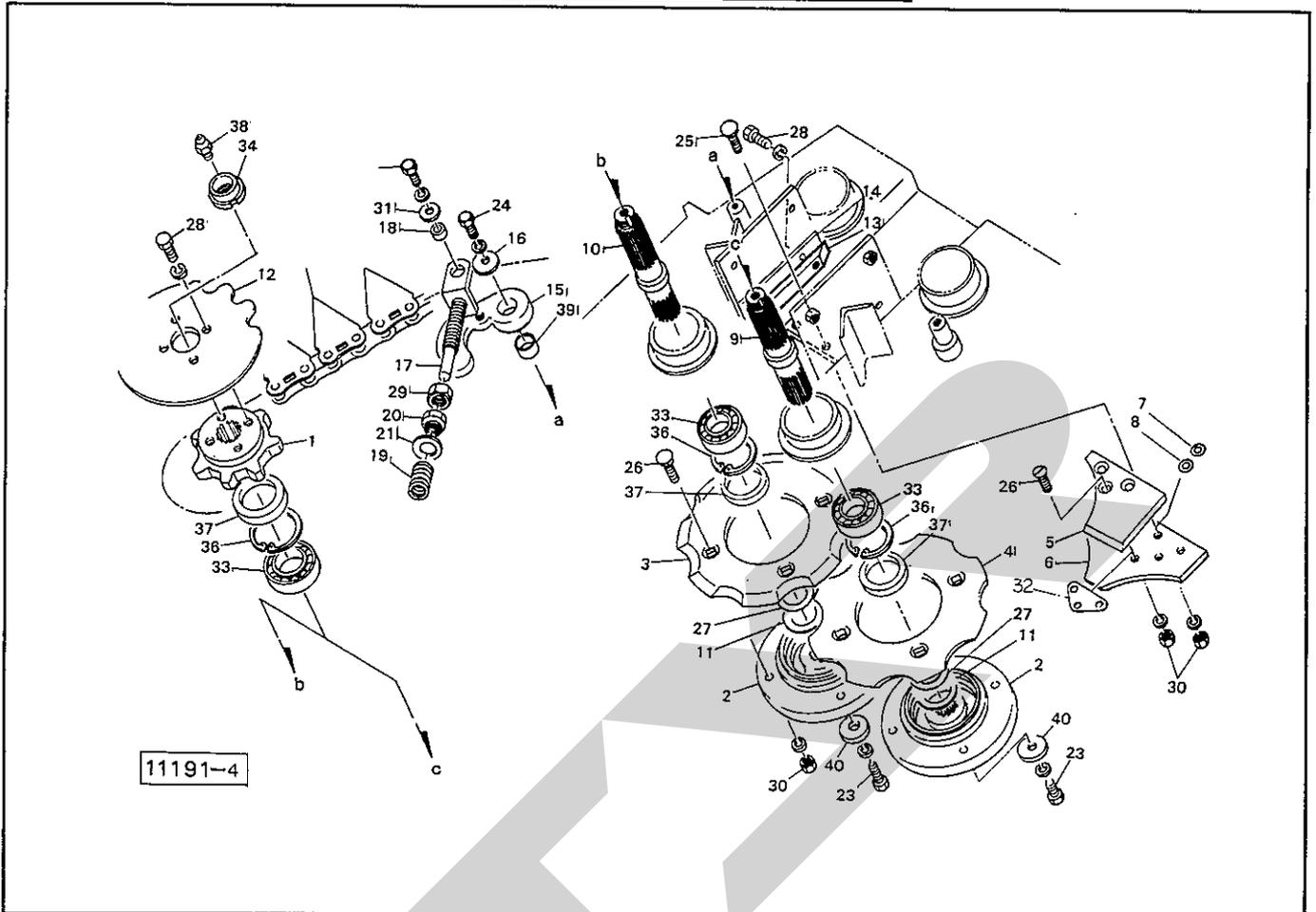
ARC2000 ロックロップアタッチメント ピッカドライブ



11190-3

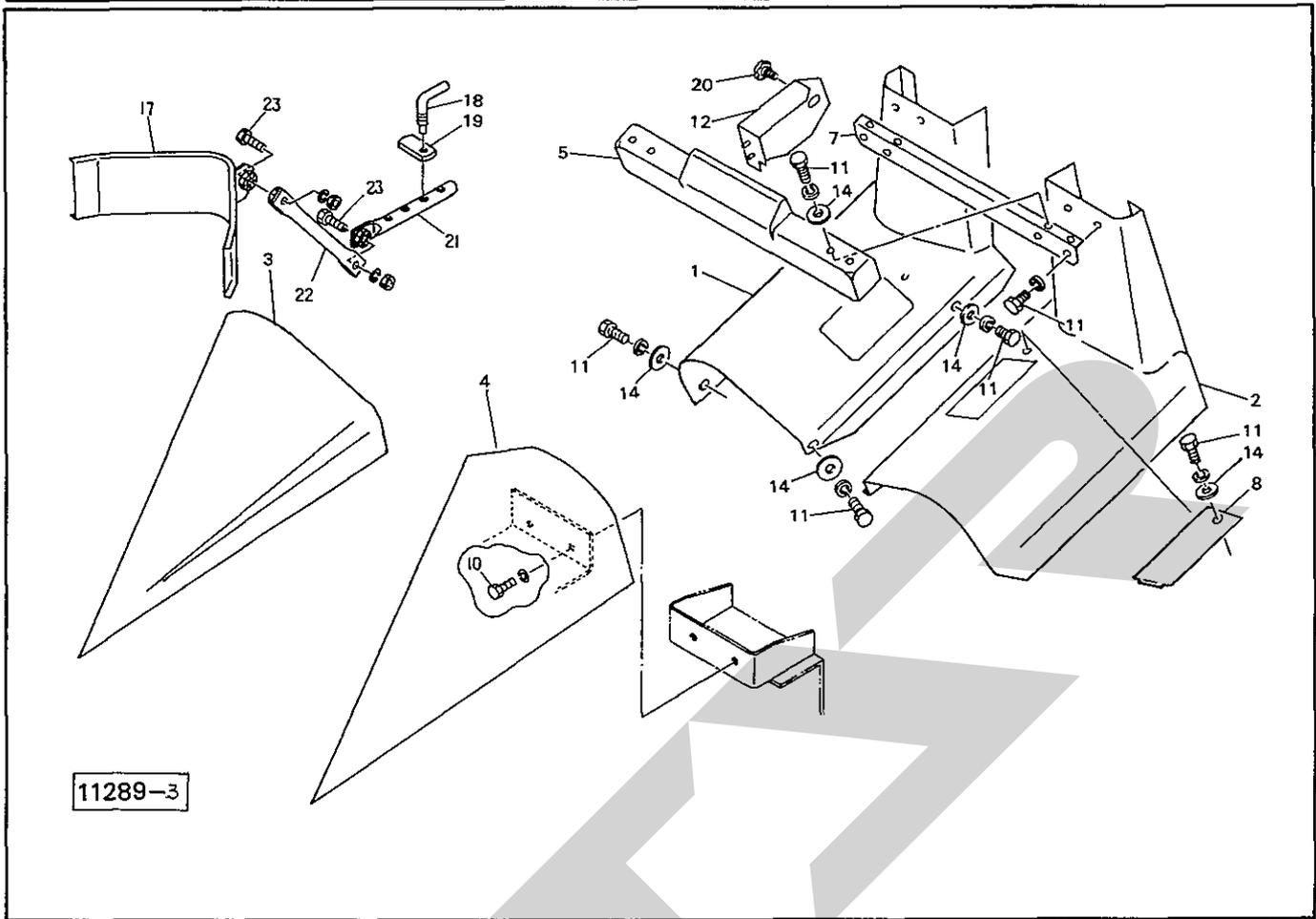
目録 番号	部品番号	部 品 名 称	個数	目録 番号	部品番号	部 品 名 称	個数
				26	DHC52	スナップリング; H52	2
2	74564	マイタギヤ; 19T	4	27	DHC47	スナップリング; H47	1
3	75979	シャフト	1	28	DC25	スナップリング; S25	3
4	74598	シャフト	2	29	ONAS1	グリースニップル; A-PT1/8	2
5	76511	カラー	2	30	LD5055	ローラチェーン; 50×55 31、32付	1
6	64520	メタル	2	31	AA50	ツギテ; 50	1
7	89613	シャーボルトホルダ	1	32	AD50	1ピッチオフセット; 50	1
8	KFC08070250	キー; 8×7×25 (両丸)	4	33	46462	ブッシュ	1
9	74601	スプロケット; 22T	1	34	81232	シャーボルト; M6×30 (予備3ヶ)	4
10	76052	カラー	1	35	NP06G	スプリングナット; M6 (")	4
11	56984	クリップ; 17×3	1				
12	55698	シム	—				
13	55699	シム	—				
14	74602	カラー	2				
15	70415	スプロケット; 7T	2				
16	44214	ワッシャ	—				
18	BZ0825AG	ボルト; M8×25 (8.8)	6				
19	J6206Z	ベアリング; 6206Z	4				
20	J6205LLU	ベアリング; 6205LLU	2				
21	J6005LLU	ベアリング; 6005LLU	2				
22	NJAN05	ベアリングナット; AN05	2				
23	WAW05	ベアリングワッシャ; AW05	2				
24	VC48626	オイルシール; VC48626	2				
25	DHC62	スナップリング; H62	4				

ARC2000 ロックロップアタッチメント ギヤザリング



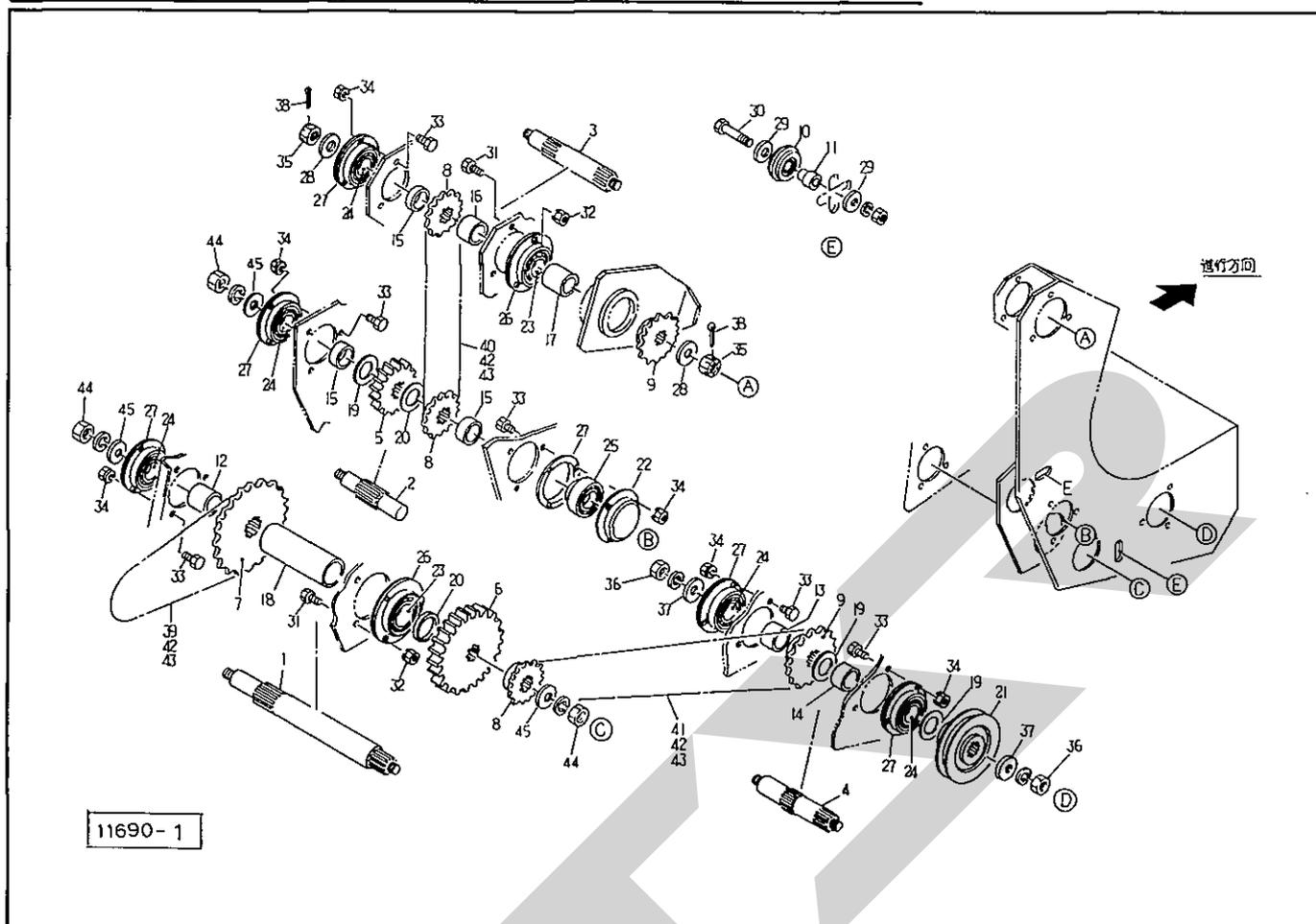
見 番 出 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 出 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	75965	スプロケット; 8T	2	26	44091	カクネサラボルト; M10×30(8.8)	11
2	91303	ナイフホルダ	2	27	70420	シム	—
3	100198	ナイフ; R	1	28	BZ0820WG	ボルト; M8×20(8.8)	12
4	100199	ナイフ; L	1	29	NZ16G	ナット; M16(8)	2
5	78675	スクレーパ; U	1	30	NZ10WG	ナット; M10(8)	14
6	75969	スクレーパ; LO	1	31	42783	ワッシャ; 12	2
7	85804	シム	—	32	100719	シム	—
8	85805	シム	—	33	J6206Z	ベアリング; 6206Z	4
9	76516	シャフト	1	34	82316	ロックナット; M25×1.5	2
10	76517	シャフト	1				
11	70421	シム	—	36	DHC62	スナップリング; H62	4
12	75977	フラワープレート	2	37	VC48626	オイルシール; VC48626	4
13	75972	バー; レール	2	38	ONAS1	グリースニップル; A-PT1/8	2
14	75973	プレート	2	39	701-11-2015	ドライメットブッシュ; 701-11-2015	2
15	74558	テンション	2	40	93059	ワッシャ; 12	2
16	58340	ワッシャ	2				
17	75974	ロッド	2				
18	74560	カラー	2				
19	62617	スプリング	2				
20	74561	ナット; M16	2				
21	55263	シム	—				
22	83633	ギヤザリングチェーン; 22リンク	2				
23	BZ1225WG	ボルト; M12×25(8.8)	4				
24	BZ1020WG	ボルト; M10×20(8.8)	2				
25	43067	カクネボルト; M10×30(8.8)	3				

ARC2000 ロックロップアタッチメント ロックロップカバー



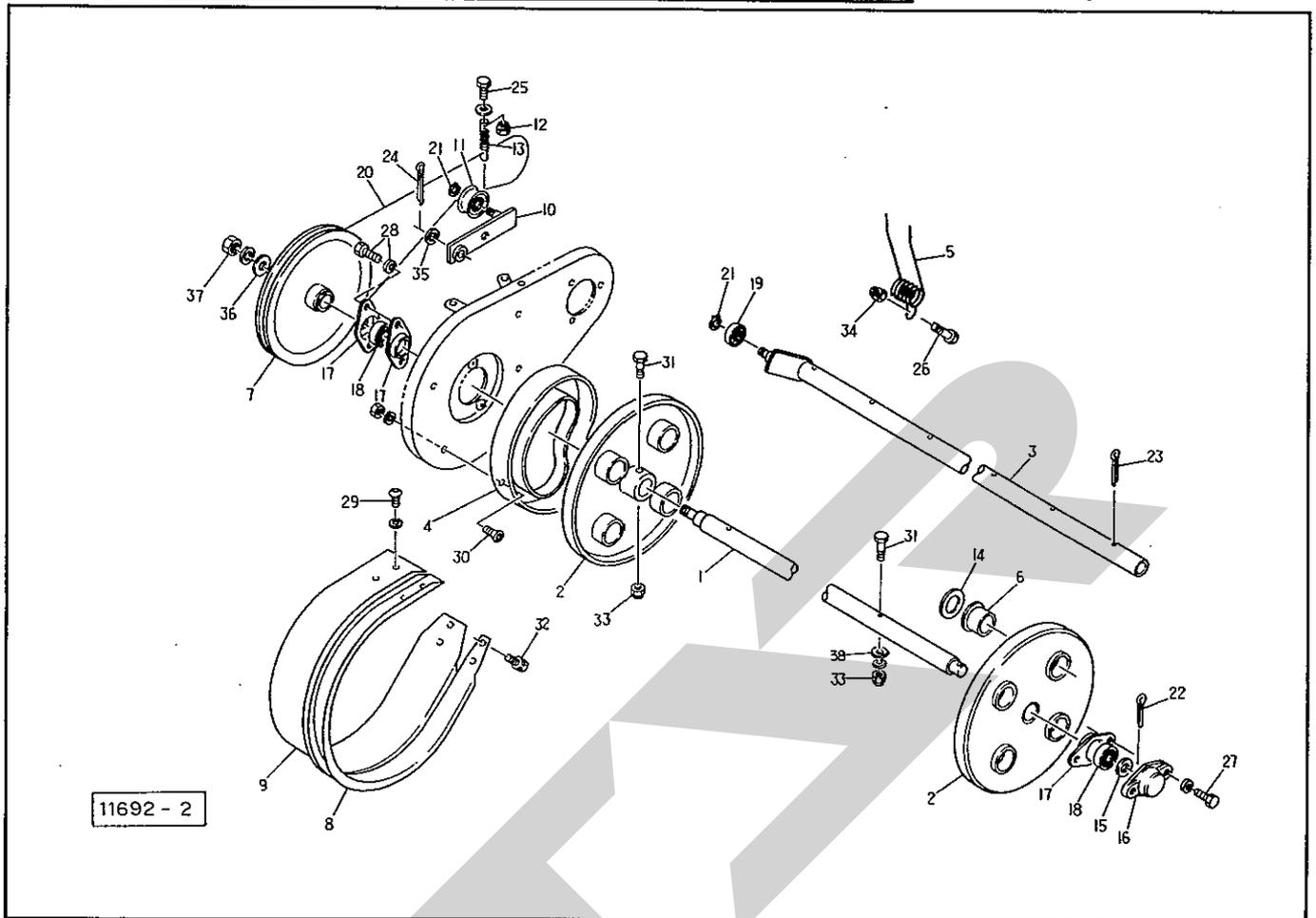
見 番 出 身	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 出 身	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	76066	デバイダーカバー; R	1				
2	76068	デバイダーカバー; L	1				
3	94400	ポイント; R	1				
4	94406	ポイント; L	1				
5	76075	カバー; デバイダ	1				
7	76105	アングル	1				
8	73438	カバー	2				
10	BZ1020WG	ボルト; M10×20(8.8)	4				
11	BZ0825WG	ボルト; M8×25(8.8)	16				
12	89614	カバー; クラッチ	1				
13	BZA1260NG	ボルト; M12×60(全ネジ)(8.8)	2				
14	44097	ワッシャ; 8	12				
15	NZ10G	ナット; M10(8)	4				
17	94211	ストークガイド	1				
18	62983	ロックボルト	1				
19	76138	レバー	1				
20	00690	ニギリ; M8×14	1				
21	94209	パイプ; 1	1				
22	94210	パイプ; 2	1				
23	BZ1260AG	ボルト; M12×60	2				

APU2000 ピックアップアタッチメント ドライブ



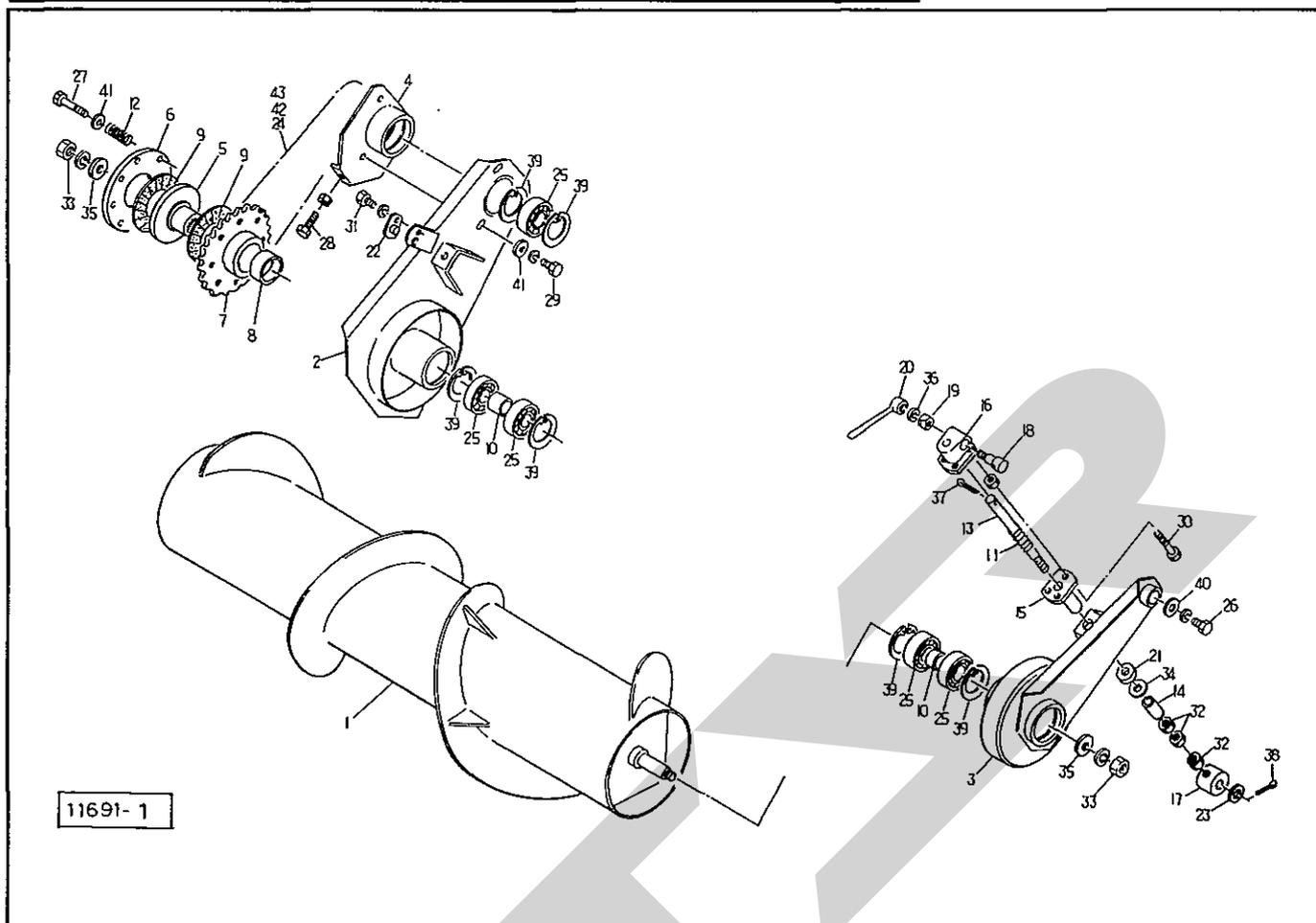
見 番 号	部品番号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部品番号	部 品 名 称	個 数
1	87946	シャフト;ドライブ (Ⓢ36付)	1	26	PF206	フランジ;PF206	4
2	87947	シャフト;カウンタ (Ⓢ36付)	1	27	PF205	フランジ;PF205	11
3	82380	シャフト (Ⓢ35,38付)	1	28	75318	ザガネ	2
4	85447	シャフト;ピックアップ (Ⓢ36付)	1	29	40608	ホルダザガネ	4
5	81111	ギヤ;17T	1	30	BZ1270AG	ボルト;M12×70(8.8)	2
6	81112	ギヤ;27T	1	31	BZ1020G	ボルト;M10×20(8.8)	6
7	81110	スプロケット;30T	1	32	NP10G	スプリングナット;M10	6
8	70832	スプロケット;16T	3	33	BZ0820G	ボルト;M8×20(8.8)	18
9	80773	スプロケット;18T	2	34	NP08G	スプリングナット;M8	18
10	81267	テンションローラ	2	35	NC2L20150G	キャスルナット;M20×1.5	2
11	83039	カラー	2	36	NZ12WG	ナット;M12(8)	2
12	85449	カラー;2.5.5×4.3	1	37	85137	ワッシャ;1.3×3.2	2
13	57024	カラー	1	38	PC3232G	ワリピン;3.2×3.2	2
14	55449	カラー	1	39	LA5057	ローラチェーン;50×57 (Ⓢ42,43付)	1
15	61938	カラー	3	40	LA5066	ローラチェーン;50×66 (Ⓢ42,43(2個)付)	1
16	82480	カラー	1	41	LA5039	ローラチェーン;50×39 (Ⓢ42,43付)	1
17	85451	カラー;3.2.9×3.7	1	42	AA50	ツギテ;50	3
18	85452	カラー;3.2.9×19.1	1	43	AD50	1ピッチオフセット;50	4
19	44214	ワッシャ	3	44	NZ14WG	ナット;M14	3
20	77240	シム	-	45	72968	ワッシャ;1.4	3
21	79299	Vプーリ;4.5"	1				
22	74045	キャップ	1				
23	JCS206	ベアリング;CS206	2				
24	JCS205	ベアリング;CS205	5				
25	JAS205	ベアリング;AS205	1				

APU2000 ピックアップアタッチメント リール



見 番 出 号	部品番号	部 品 名 称	個数	見 番 出 号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	85225	シャフト	①37付	26	BZ0850G	ボルト; M8×50(8.8)	24
2	86237	タインプレート	2	27	BZ0825WG	ボルト; M8×25(8.8)	2
3	85223	タインバー	4	28	BZ0820WG	ボルト; M8×20(8.8)	2
4	79282	カム	1	29	RB0820WG	ボタンコネジ; M8×20	26
5	85224	タイン	24	30	BJ0820AG	ロッククアナサラボルト; M8×20	4
6	64035	ナイロンブッシュ	8	31	BZ1070WG	ボルト; M10×70(8.8)	2
7	79300	Vプーリ; 8"	1	32	BP0820G	スプリングボルト; M8×20	24
8	85222	ロータフラッシュ	11	33	NN10G	ナイロンナット; M10	2
9	85469	ロータフラッシュ; A	1	34	NN08G	ナイロンナット; M8	24
10	79297	テンション	1	35	WRA16G	ワッシャ; M16	1
11	00034	鉄板製プーリ; 2.2×5.5	1	36	85137	ワッシャ; 1.3×3.2	1
12	79301	ホルダ	1	37	NZ12WG	ナット; M12(8)	1
13	79302	スプリング	1	38	75290	ワッシャ; 10	2
14	65487	シム; 3.5×1.2	8				
15	57788	シム	1				
16	85226	フランジ	1				
17	PFL204	フランジ; PFL204	3				
18	JCS204LIU	ベアリング; CS204LLU	2				
19	JSBX0126LLU	ベアリング; SBX0126LLU	4				
20	VB40	Vベルト; B40	1				
21	DC12	スナップリング; S12	5				
22	PC5036G	ワリピン; 5×3.6	1				
23	PC5056G	ワリピン; 5×5.6	8				
24	PC3232G	ワリピン; 3.2×3.2	1				
25	BZA0870PG	ボルト; M8×70(8.8)(全ネジ)	1				

APU2000 ピックアップアタッチメント オーガ



目録 番号	部品番号	部 品 名 称	個数	目録 番号	部品番号	部 品 名 称	個数	
1	87948	オーガ	①33付	1	26	BZ1225WG	ボルト; M12×25(8.8)	1
2	85456	アーム; R	1	27	BZ1070G	ボルト; M10×70(8.8)	8	
3	85457	アーム; L	1	28	BZA1040NG	ボルト; M10×40(8.8)(全ネジ)	1	
4	85458	テンショナ	1	29	BZ1025WG	ボルト; M10×25(8.8)	3	
5	70906	ボス	1	30	BZ08100NG	ボルト; M8×100(8.8)	6	
6	70907	プレート	1	31	BZ0816WG	ボルト; M8×16(8.8)	1	
7	70908	スプロケット; 36T	1	32	NZ16G	ナット; M16(8)	6	
8	70909	ブッシュ	1	33	NZ14WG	ナット; M14(8)	2	
9	70910	フェーシングプレート	2	34	42322	ワッシャ; 16	2	
10	70922	カラー	2	35	72968	ワッシャ; 14	2	
11	63523	スプリング	2	36	WS12G	Sワッシャ; M12	2	
12	63313	スプリング	8	37	PC5036G	ワリピン; 5×36	2	
13	85459	ボルト	2	38	PC3232G	ワリピン; 3.2×32	2	
14	85460	カラー; 16.5×55	2	39	DHC62	スナップリング; H62	6	
15	85461	ブラケット	2	40	85137	ワッシャ; 13×3.2	1	
16	85462	ブラケット	2	41	44098	ワッシャ; 10	11	
17	85463	ナット	2	42	AA50	ツギテ; 50	1	
18	85464	ボルト	2	43	AD50	1ピッチオフセット; 50	1	
19	85465	プランジャ	2					
20	74738	ハンドル	2					
21	73005	クッション	2					
22	85466	ピン	1					
23	75318	ザガネ	2					
24	LA5073	ローラチェーン; 50×73	①42, 43付	1				
25	J6206LLU	ベアリング; 6206LLU		5				

START

調 整

S — 980601L

本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1061 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 营 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1061 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭 川 营 業 所 070-8004 旭 川 市 神 楽 4 条 9 丁 目 3 番 35 号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊 富 营 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1191 番 地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 营 業 所 080-2462 帯 広 市 西 22 条 北 1 丁 目 12 番 地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北 見 营 業 所 090-0001 北 見 市 小 泉 3 0 2
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中 標 津 营 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 16 番 2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花 巻 营 業 所 025-0312 岩 手 県 花 巻 市 二 枚 橋 第 三 地 割 333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙 台 营 業 所 985-0845 宮 城 県 多 賀 城 市 町 前 2 丁 目 4 番 27 号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小 山 营 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名 古 屋 营 業 所 480-0102 愛 知 県 丹 羽 郡 扶 桑 町 大 字 高 雄 字 南 屋 敷 191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松 本 出 張 所 399-0033 長 野 県 松 本 市 大 字 笹 賀 5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡 山 营 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 下 中 野 704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 营 業 所 862-0939 熊 本 県 熊 本 市 長 嶺 南 1 丁 目 2 番 1 号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都 城 营 業 所 885-0004 宮 崎 県 都 城 市 都 北 町 3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644